

女性活躍推進に関するアンケート
調査結果報告書

令和6年9月
中標津町 総務部 政策推進課

目 次

I 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査の統計	1
3 配布数及び回収結果	1
4 その他	1

II 回答者の属性

1 一般町民（18歳以上の町民）	2
------------------	---

III 女性活躍に関するアンケート調査結果

2 女性活躍推進について	4
問2 2016年に女性活躍推進法が施行されましたが、実際に女性が活躍できる場が広がっているという実感はありますか	4
問3 次にあげる分野で、男女は平等になっていると思いますか	8
問4 日常生活の中で男女の不平等を一番感じる場所はどこですか	13
3 女性と仕事について	14
問5 女性の働き方について、どうお考えですか	14
問5-2 女性が仕事を持つ方がよいと考える理由はなんですか	17
問6 女性が仕事を続けていくためには、どのようなことが必要だと思いますか	19
問7 いったん離職した女性が再就職や起業にチャレンジするためには、どのようなことが必要だと思いますか	21
4 男性が家事・育児に関わることにについて	23
問8 男女で家事・育児等の分担に差があると思いますか	23
問9 男性の家事・育児等の関わりについて、どうお考えですか	24
問10 男性が家事・育児等に積極的に関わることにについて、以前と比べて考え方は変わりましたか	26
問11 男性が家事・育児等に積極的に関わるためには、どのようなことが必要だと思いますか	27
5 現在の就業状況について	28
問12 現在収入を得る仕事に就いていますか	28
問12-2 現在の雇用形態を選んだ理由を教えてください	29
問12-3 現在、再就職を希望していますか	30
問12-4 再就職に向けた準備でしていることを教えてください	31
問12-5 再就職について情報収集に利用したことがあるものを教えてください	32
問12-6 再就職を希望していても、準備を進めていない理由を教えてください	33
問12-7 仕事を辞めた理由は何ですか	34
6 女性活躍推進に関する今後の取り組みについて	36
問13 今後、女性の活躍推進について、行政にどのようなことを望まれますか	36
問14 昨今、若者（特に女性）の都市部への流出が深刻な状況となっています。若者の流出をくい止めるには、また、若者に選ばれるには、どのような「まち」だと良いと思いますか	39
問15 女性活躍及び男女共同参画社会を推進していく上で、ご意見、ご提案などありましたらご自由にご記入ください	42

IV 参考資料

女性活躍推進に関するアンケート調査回答用紙

I 調査の目的

女性活躍に対する町民皆さんの意識や考えを把握し、今後の女性活躍推進の取組を検討していくための資料とすることを目的とします。

II 調査の統計

- ◆調査対象：18歳以上の町民（住民基本台帳より無作為抽出）
- ◆調査方法：郵送配布（郵送回答またはインターネット回答）
- ◆調査時期：令和6年6月
- ◆調査内容：
 - 1 ご自身のことについて
 - 2 女性活躍推進について
 - 3 女性と仕事について
 - 4 男性が家事・育児等に関わることについて
 - 5 現在の就業状況について
 - 6 女性活躍推進に関する今後の取り組みについて

III 配布数及び回収結果

- ◆配布数：1,000通
- ◆有効回収数：350通（うちインターネット回答数：64件）
- ◆有効回収率：35.0%

IV その他

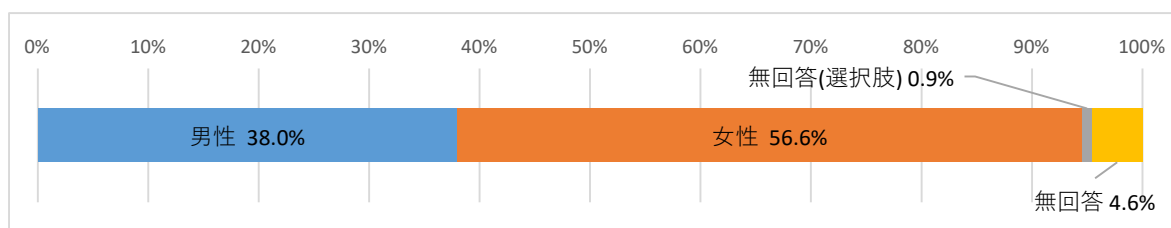
- ・ 回答は設問の回答数を基数とした百分率（%）で示してあります。
また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
- ・ 設問の中にはさまざまな制限があるため、回答者が少なく有意性の低いものも含まれます。

1 回答者について

(1) 性別

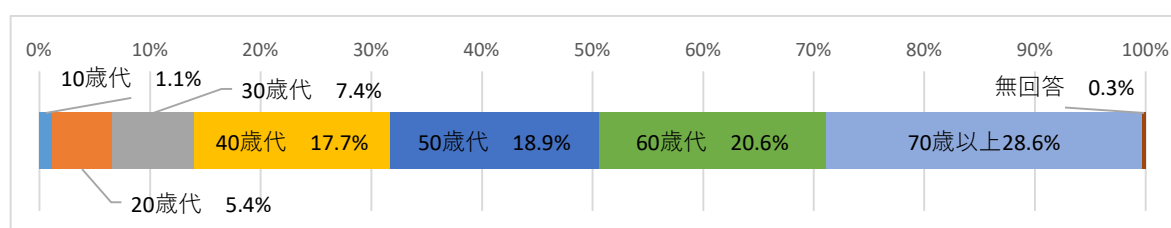
回答者の性別構成は、「男性」が133名 38.0%、「女性」が198名 56.6%、「無回答」の選択肢を選んだ方が3名 0.9%、無回答が16名 4.6%となっています。

【回答数 350】



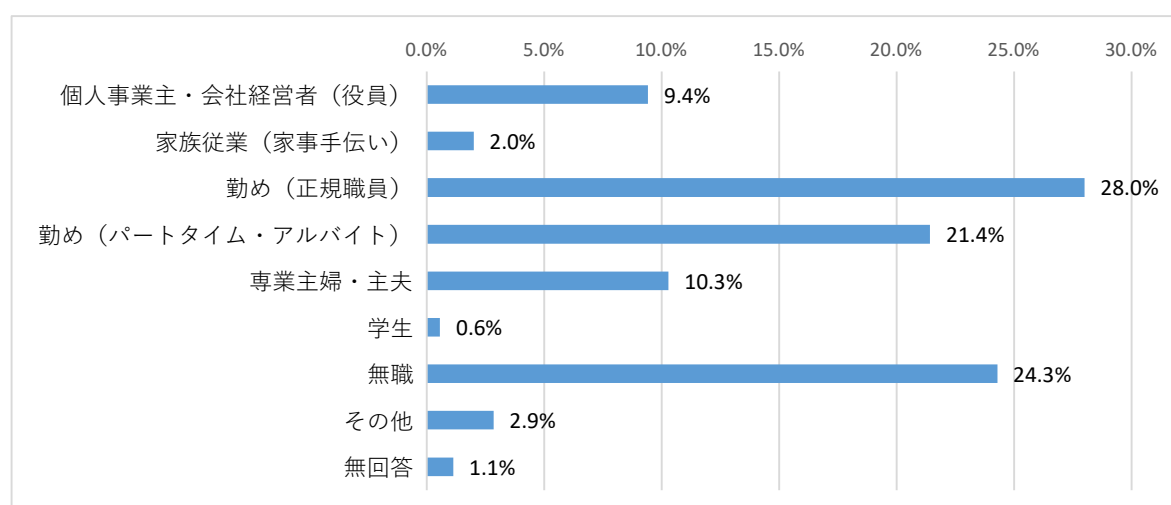
(2) 年齢

回答者の年齢構成は、「70歳代以上」が100名 28.6%と最も多く、次いで「60歳代」が72名 20.6%、「50歳代」が66名 18.9%、「40歳代」が62名 17.7%、「30歳代」が26名 7.4%、「20歳代」が19名 5.4%、「10歳代」が4名 1.1%の順となっています。



(3) 職業

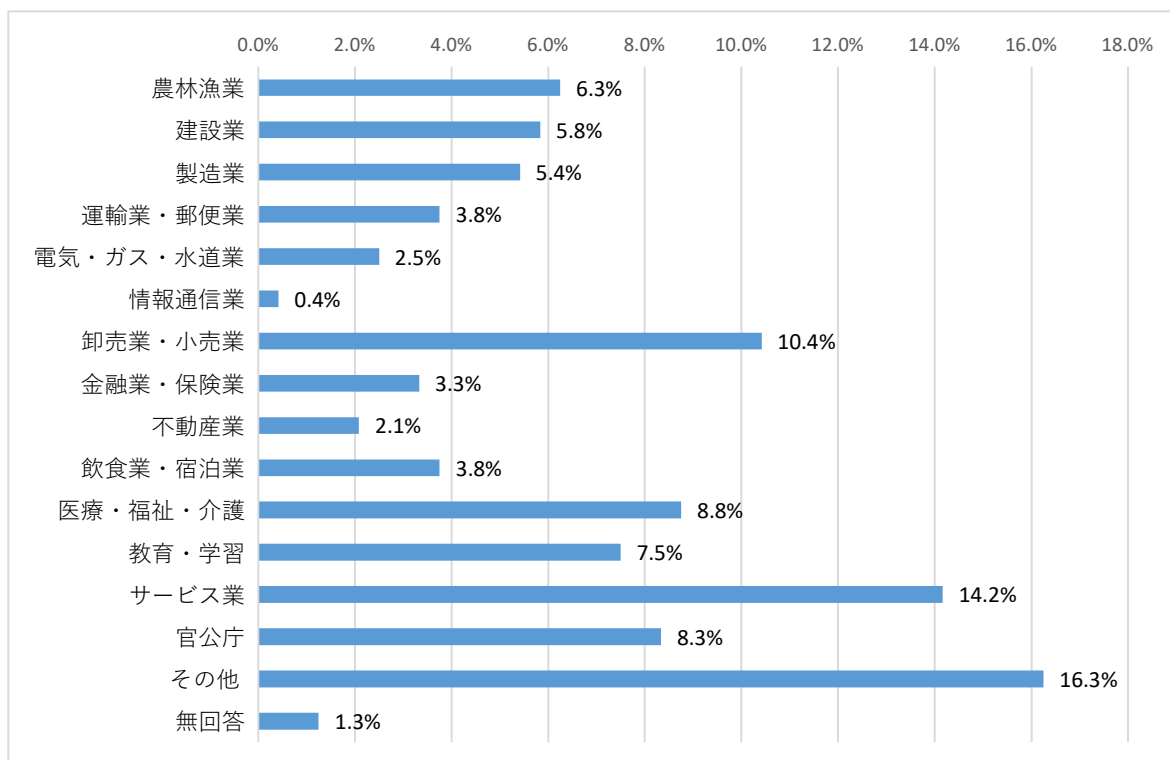
回答者の職業は、「勤め（正規職員）」が98名 28.0%と最も多く、次いで「無職」が85名 24.3%、「勤め（パートタイム）」が75名 21.4%、「専業主婦・主夫」が36名 10.3%、「個人事業主・会社経営者（役員）」が33名 9.4%、「その他」が10名 2.9%、「家族従業（家事手伝い）」が7名 2.0%、「学生」が2名 0.6%の順となっています。



(4) 業種

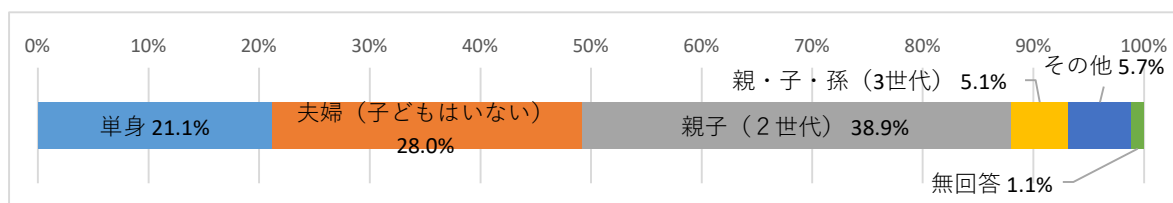
回答者の業種は、「その他」が39名 16.3%と最も多く、次いで「サービス業」が34名 14.2%、「卸売業・小売業」25名 10.4%となっています。

【回答数 240 ※複数回答あり】



(5) 家族構成

回答者の家族構成は、「親子（2世代）」が136名 38.9%と最も多く、次いで「夫婦（子どもはいない）」が98名 28.0%、「単身」が74名 21.1%、「その他」が20名 5.7%、「親・子・孫（3世代）」が18名 5.1%の順となっています。

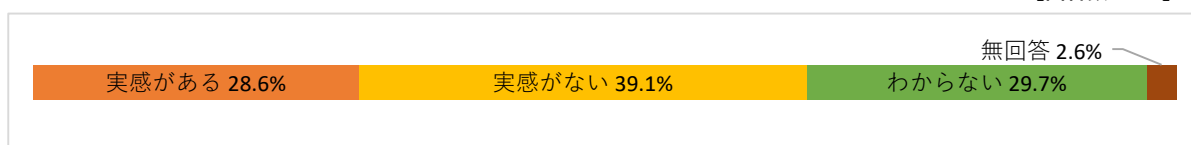


2 女性活躍推進について

問2 2016年に女性活躍推進法が施行されましたが、実際に女性が活躍できる場が広がっているという実感はありますか。

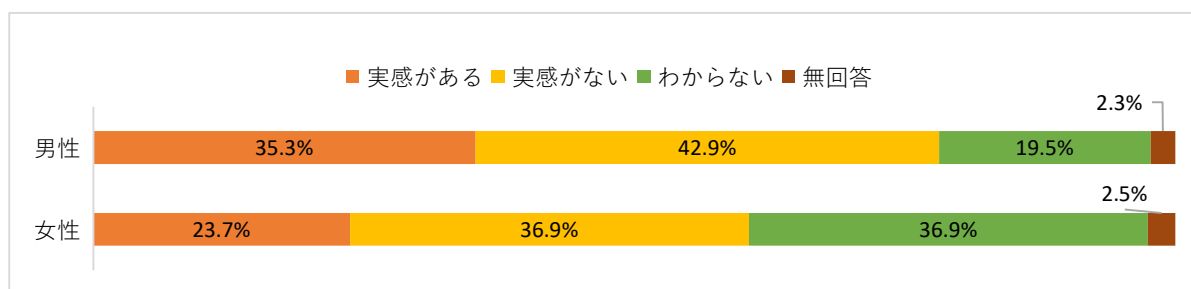
女性活躍推進について、実際に女性が活躍できる場が広がっているという実感はあるかどうかたずねたところ、「実感がある」と答えた方は28.6%、「実感がない」と答えた方は39.1%と「実感がある」を上回る結果となりました。また、29.7%の方は「わからない」と回答しています。

【回答数 350】



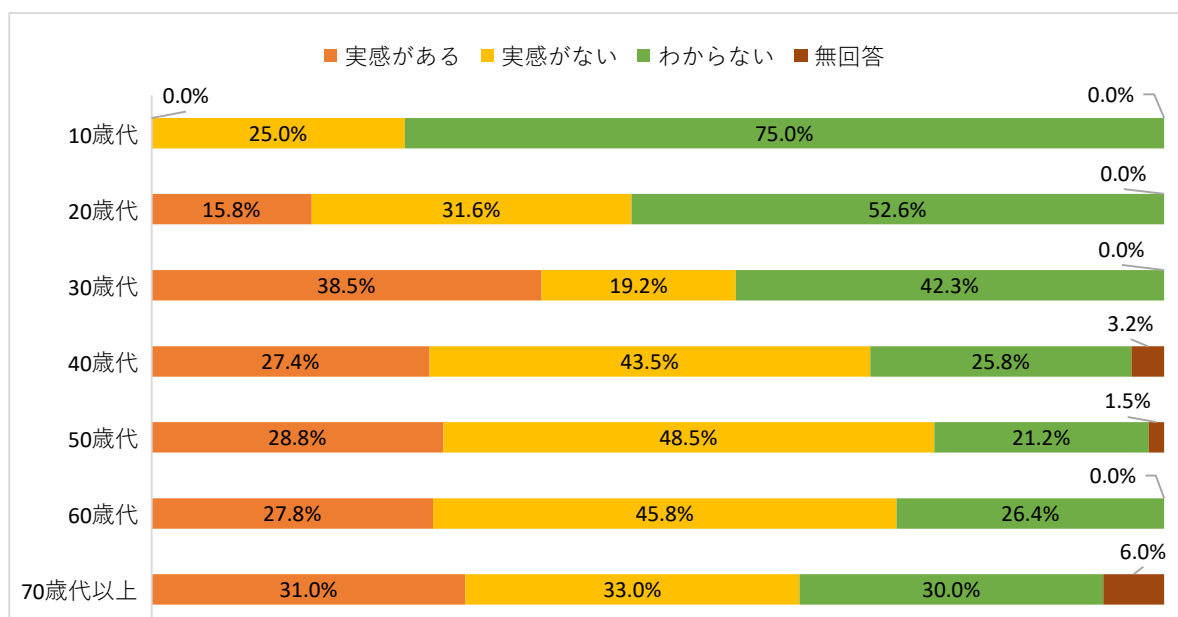
男女別にみると、男性、女性ともに「実感がない」が「実感がある」を上回っています。また、男性よりも女性の方が「実感がある」と回答した割合が低くなっています。

【回答数 男性133 女性198】



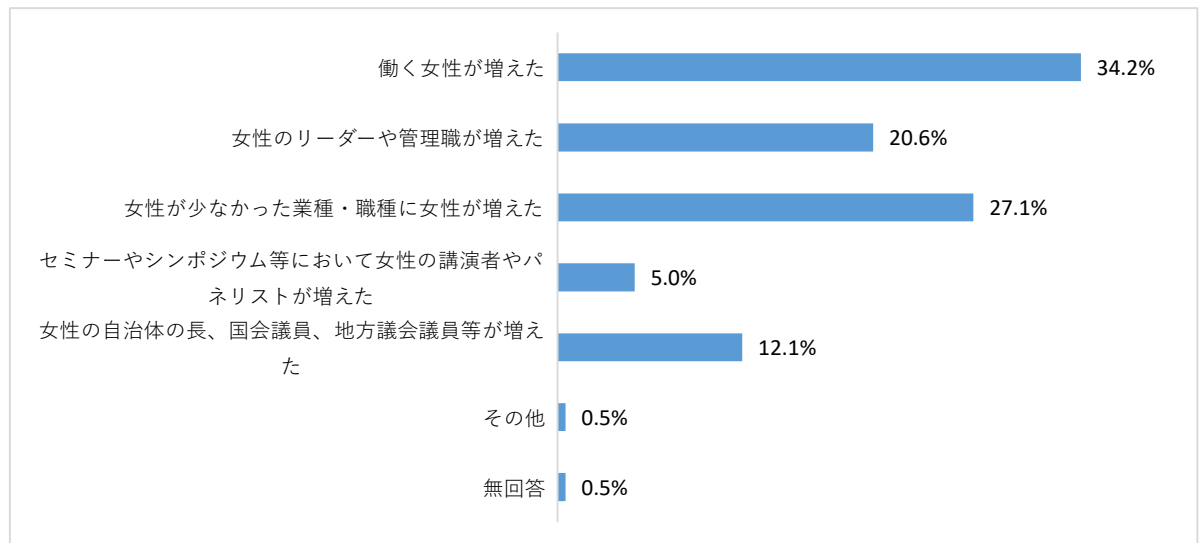
年代別にみると、10歳代は「実感がある」と回答した方はいなく、「わからない」と回答した方が多い結果となりました。また、20歳代も「わからない」と回答した方が多く、30歳代以外は「実感がある」よりも「実感がない」と回答した方が上回る結果となりました。

【回答数 10歳代：4 20歳代：19 30歳代：26 40歳代：62 50歳代：66 60歳代：72 70歳以上：100】



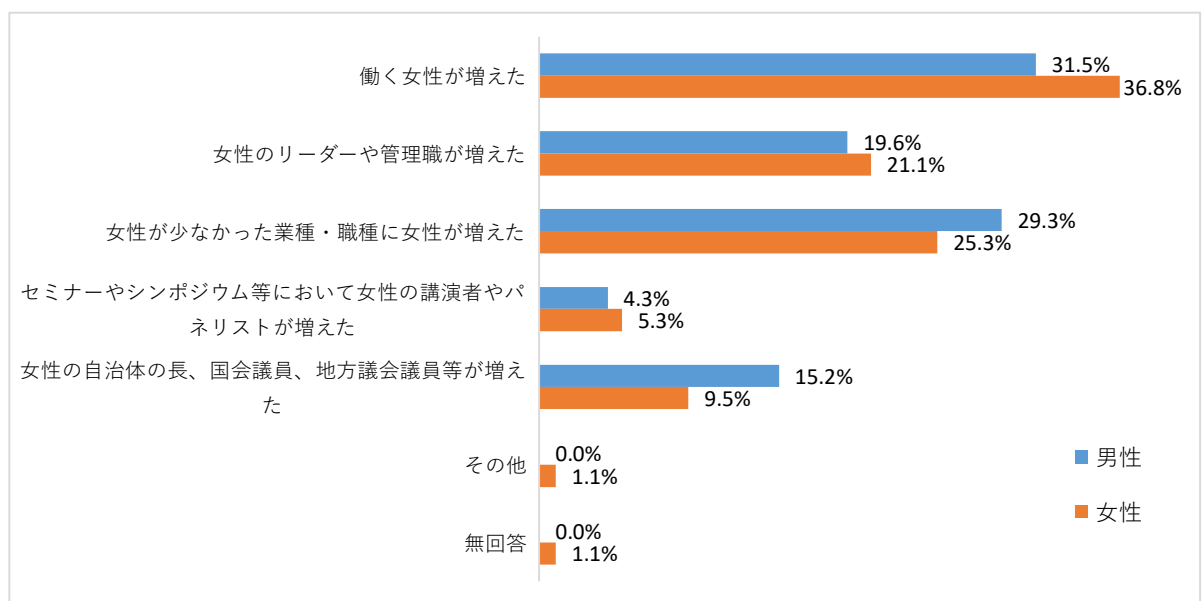
問2で「実感がある」を選んだ方に、女性の活躍が進んでいると感じる理由をたずねたところ、「働く女性が増えた」との回答が最も多く、次いで「女性が少なかった業種・職場に女性が増えた」「女性のリーダーや管理職が増えた」との回答が多くなっています。(複数回答)

【回答数 199】



＜男女別＞

【回答数 男性92 女性95】



＜その他＞

(女性・40歳代)

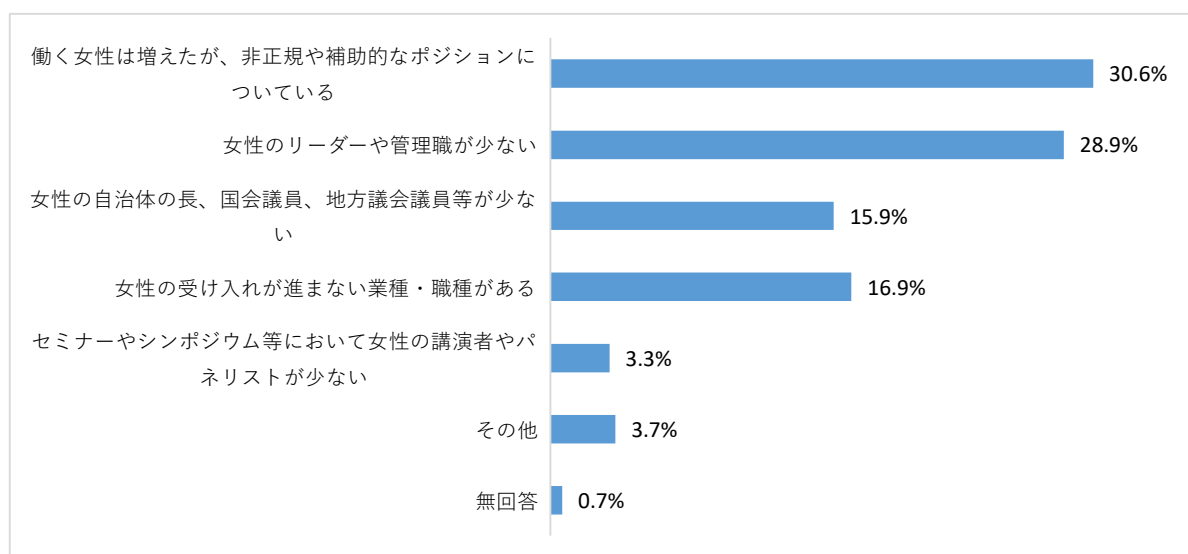
- ・事務服ではない、男性と同じ作業着で現場仕事をする女性の姿が来客対応するなかで、増えてきたように思います。

(無回答・70歳代以上)

- ・仕事について、男女平等だとはとうてい思えない。

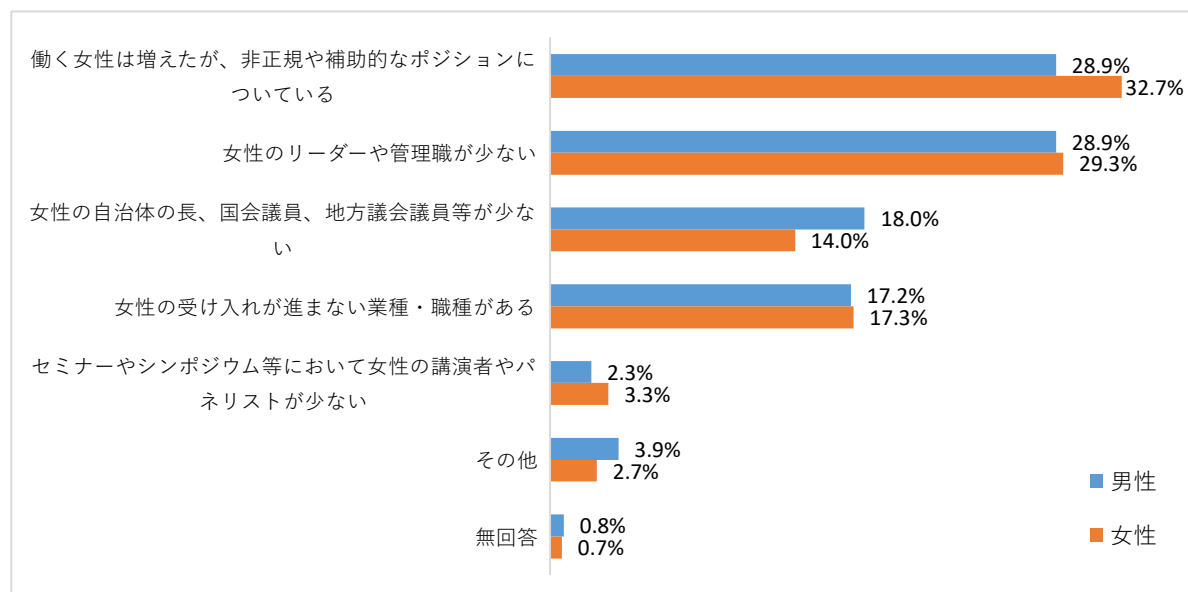
問2で「実感がない」を選んだ方に、女性の活躍が進んでいないと感じる理由をたずねたところ、「働く女性は増えたが、非正規や補助的なポジションについている」との回答が最も多く、次いで「女性のリーダーや管理職が少ない」と回答した方が多くなっています。(複数回答)

【回答数 301】



〈男女別〉

【回答数 男性128 女性150】



〈その他〉

（男性・40歳代）

- ・女性の責任感に頼り、給料が低く、仕事を家に持ち帰ってやっても、その分の報酬が出ていない。
- ・それ以前と変化を感じない。
- ・身近な範囲で女性の活躍がない。そもそも現場にいない。

（男性・50歳代）

- ・男性の育児休暇取得率や職場の残業時間の縮減が業務量ではなく、効率化によるところが大きいこと、子どもを預ける場所がなく、費用もかかることなどまだまだ課題が多い。
特に地方自治体に負担が大きいと考える。
- ・リーダーや管理職等が増えることイコール活躍しているとは限らない

（女性・30歳代）

- ・表面上の役職や補償の提唱ばかりで、実際の職場や生活の中でのさりげない日常の中では、まだまだサポートや理解は足りていない。

（女性・40歳代）

- ・あまり認知されていない。

（女性・50歳代）

- ・「1名でも女性を入れておかないと…」 「今の時代は」という理由が根底にあるように思える。

問3 次にあげる分野で、男女は平等になっていると思いますか。

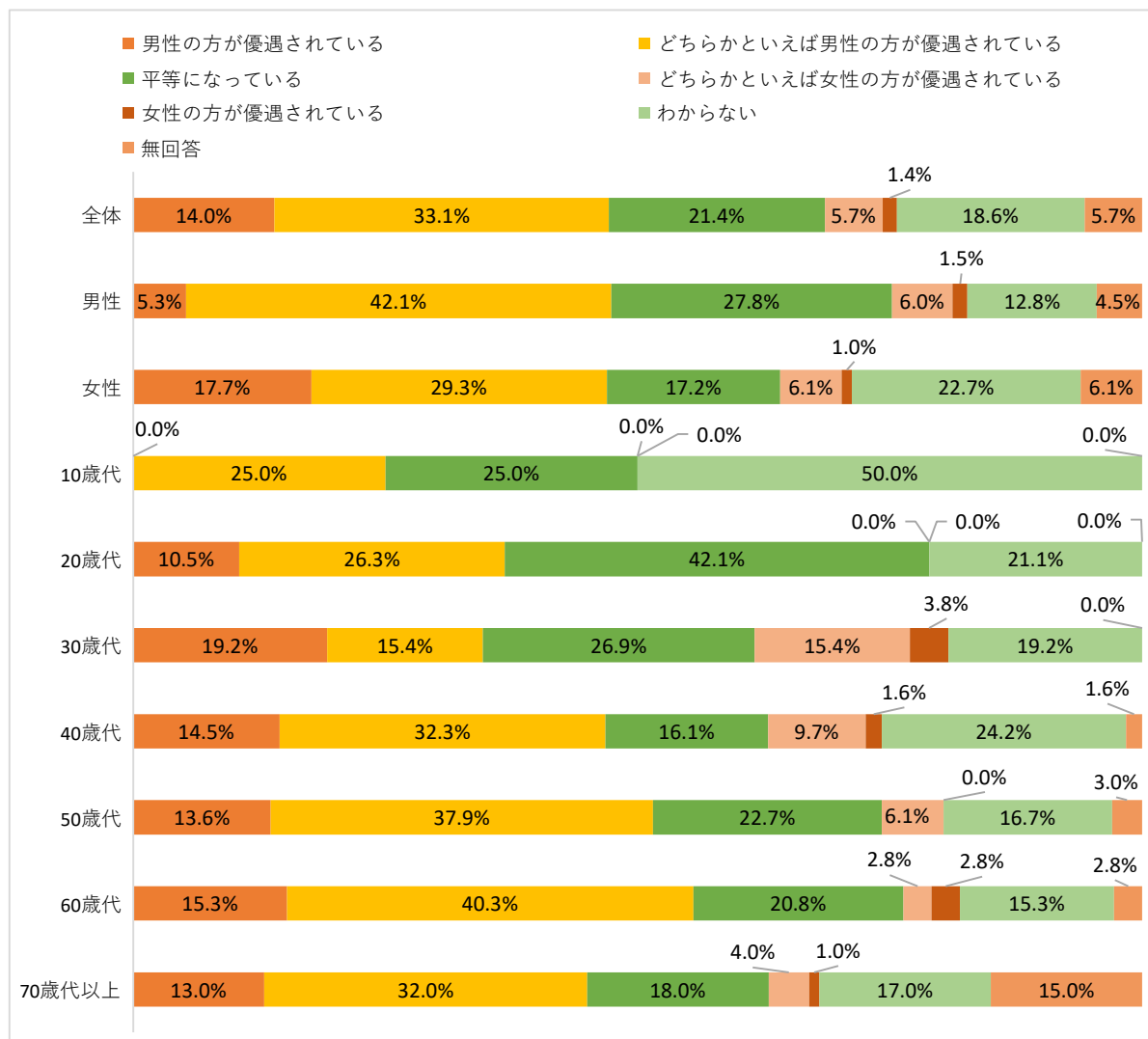
問3では各分野において、男女は平等になっていると思うかどうかたずねました。

①家庭生活では、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答した方が最も多く、次いで「平等になっている」との回答が多い結果となりました。

男女別にみると、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答した方が男女ともに最も多いですが、「平等になっている」との回答は男性の方が高い割合になっています。

①家庭生活

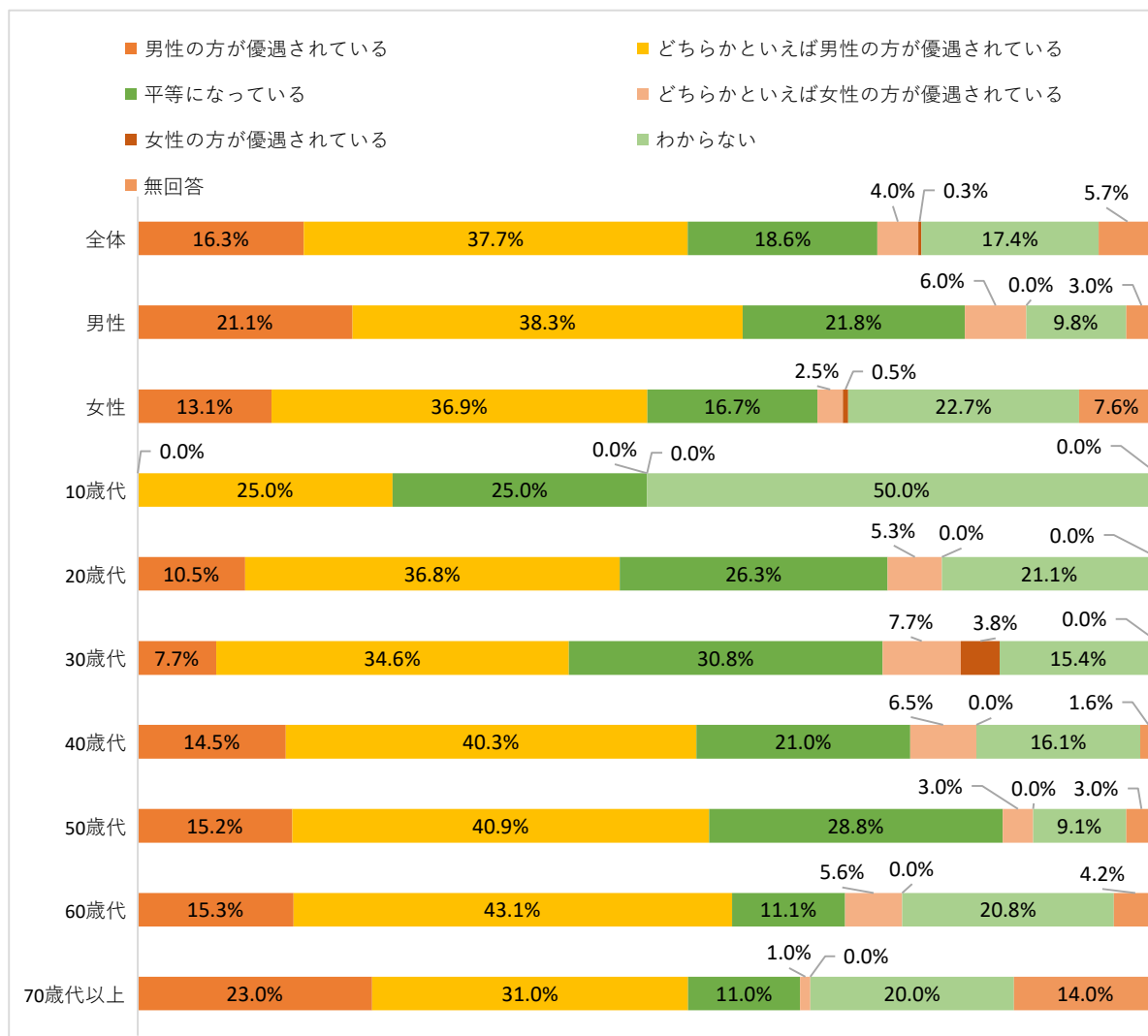
【回答数 350】



②職場では、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答した方が最も多く、次いで「平等になっている」との回答が多い結果となりました。

男女別にみると、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答した方が男女ともに最も多いですが、「平等になっている」との回答は男性の方が高い割合になっています。

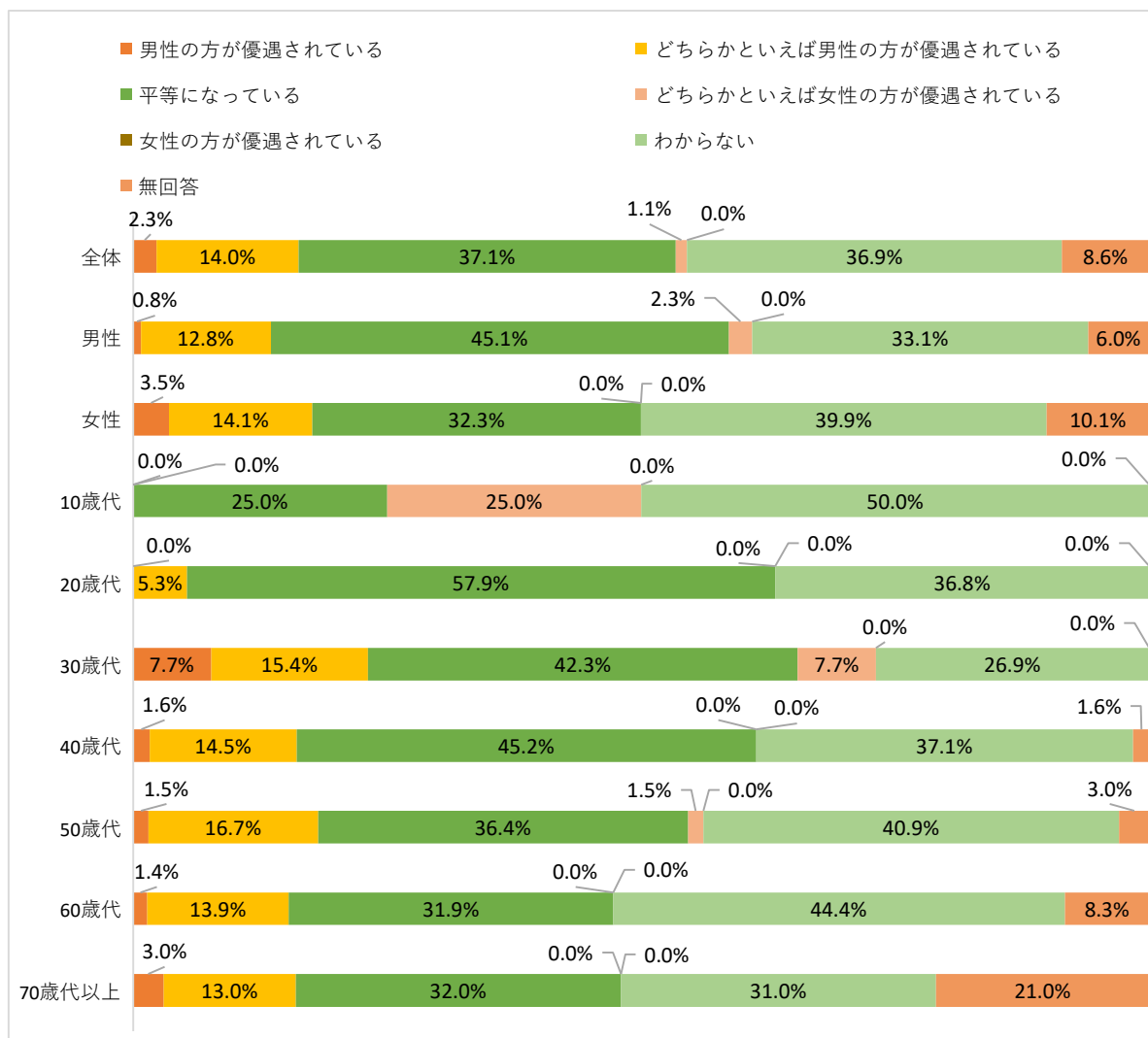
②職場



③学校では、「平等になっている」と回答した方が最も多く、次いで「わからない」との回答が多い結果となりました。

男女別にみると、男性は「平等になっている」と回答した方が最も多く、女性は「わからない」と回答した方が最も多くなっています。

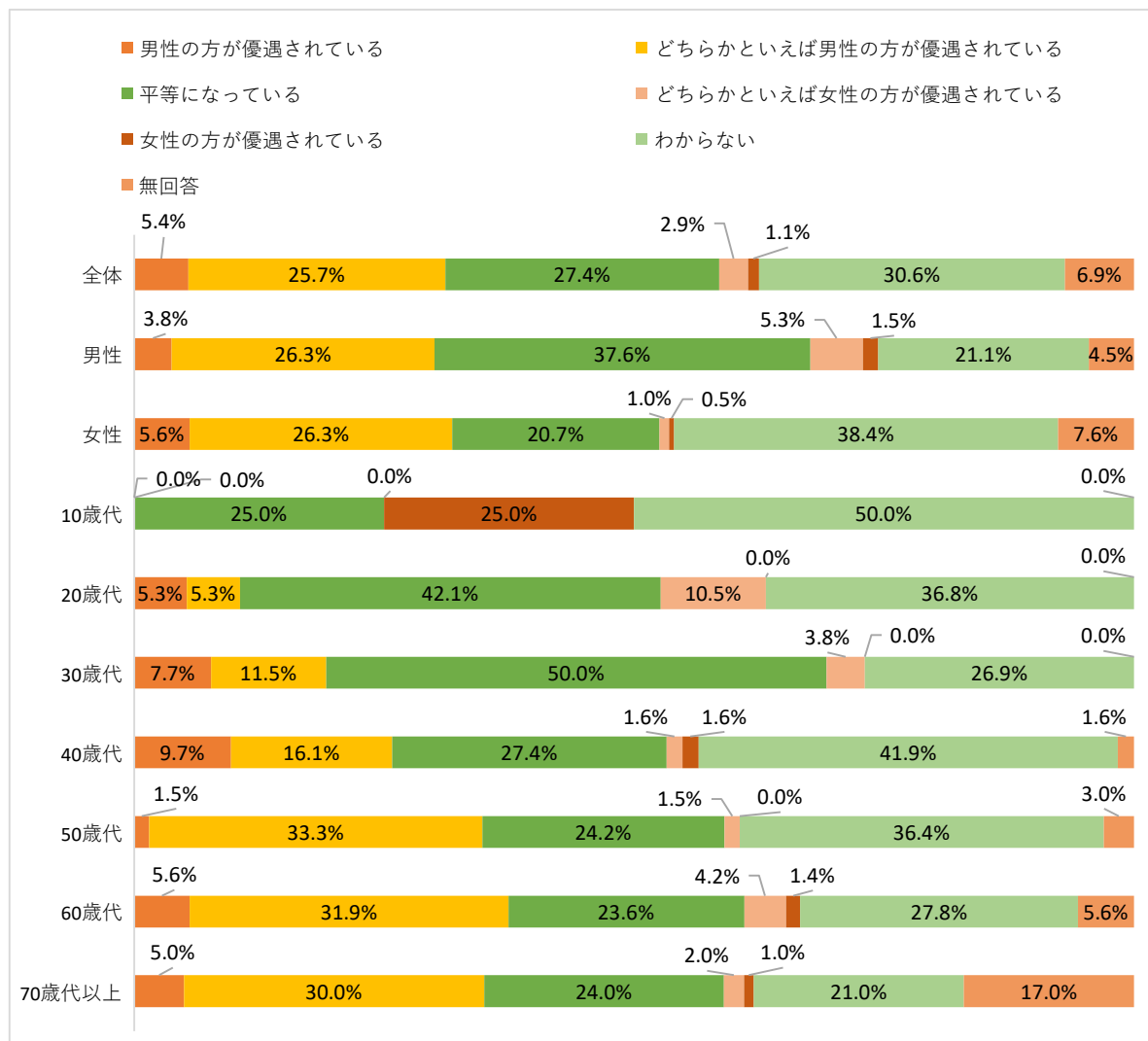
③学校



④地域活動では、「わからない」と回答した方が最も多く、次いで「平等になっている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の順になっています。

男女別にみると、男性は「平等になっている」と回答した方が最も多く、女性は「わからない」と回答した方が最も多くなっています。

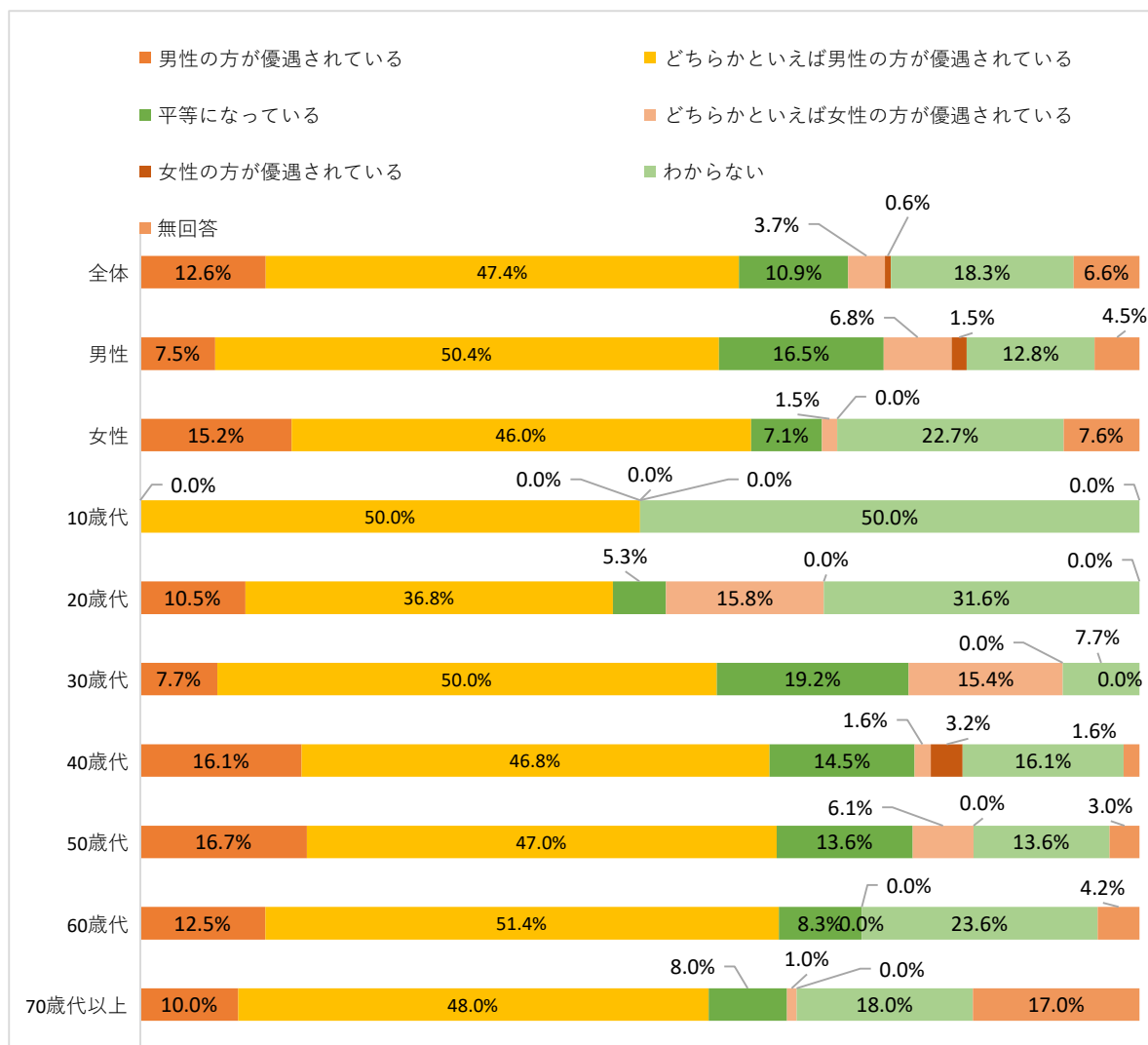
④地域活動



⑤社会全体では、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答した方が最も多く、次いで「わからない」との回答が多胃結果となりました。

男女別にみると、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答した方が男女ともに最も多く、次いで男性は「平等になっている」、女性は「わからない」と回答した方が多くなっています。

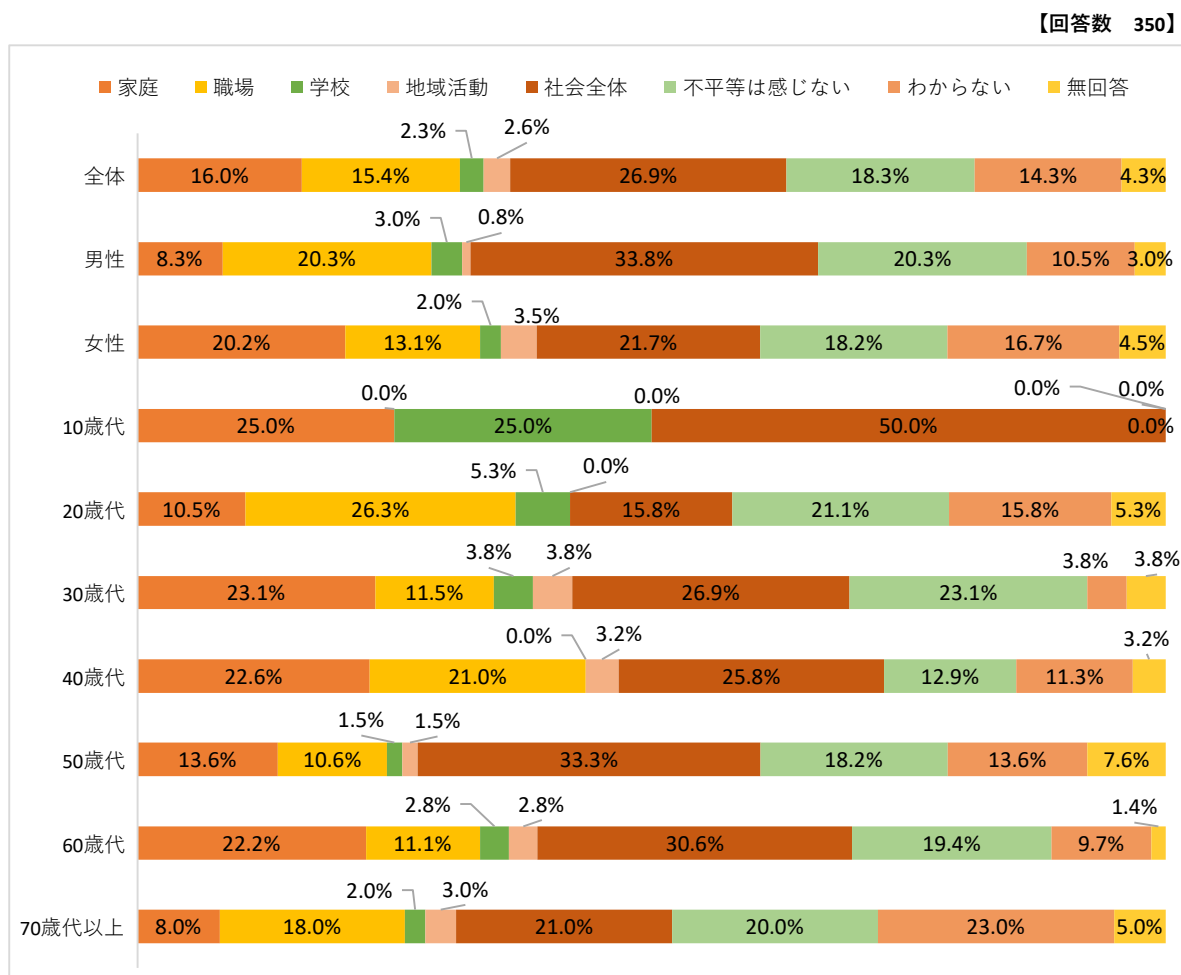
⑤社会全体



問4 日常生活の中で男女の不平等を一番感じる場所はどこですか

日常生活の中で男女の不平等を一番感じる分野をたずねたところ、「社会全体」との回答が最も多く、次いで「不平等は感じない」、「家庭」、「職場」の順になっています。

男女別にみると、「社会全体」との回答が男女ともに最も多く、次いで男性は「職場」「不平等は感じない」が同割合で、女性は「家庭」、「不平等は感じない」の順になっています。

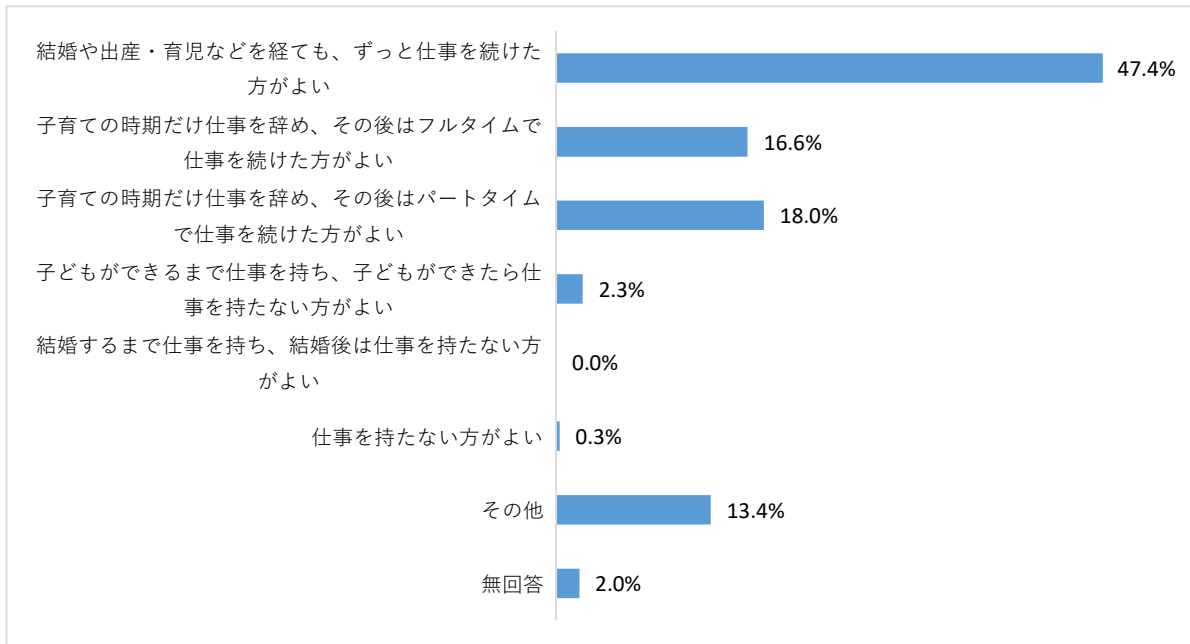


3 女性と仕事について

問5 女性の働き方について、どうお考えですか。

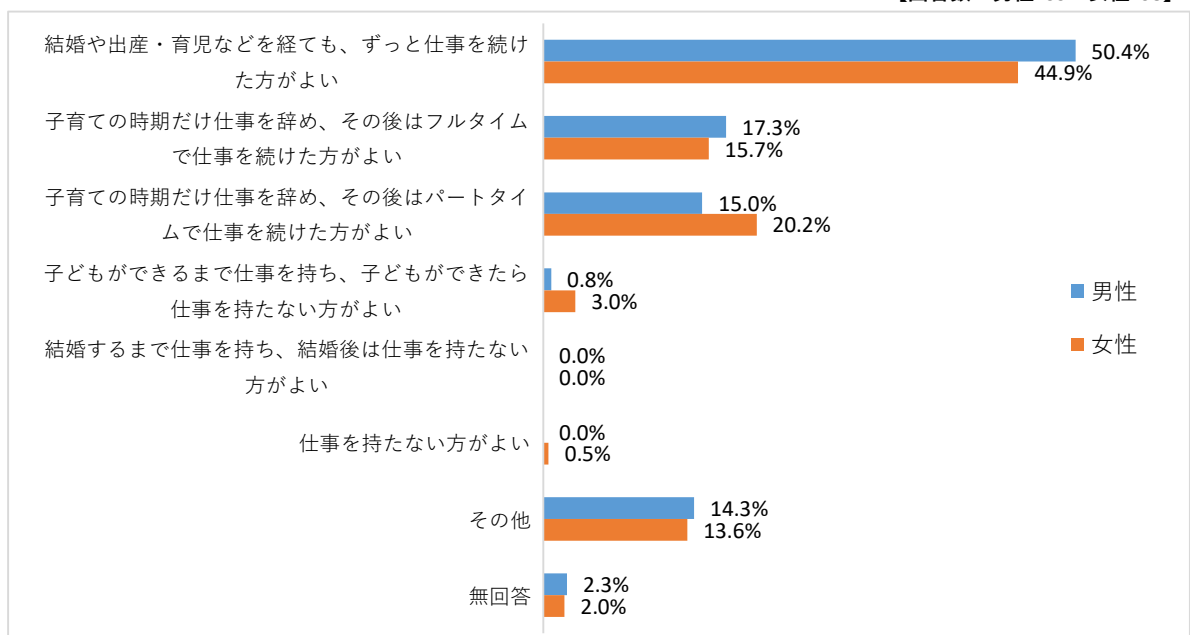
女性の働き方について、どのような働き方がよいと思うかたずねたところ、「結婚や出産・育児などを経ても、ずっと仕事を続けた方がよい」と回答した方が47.4%と高い割合になっています。

【回答数 350】



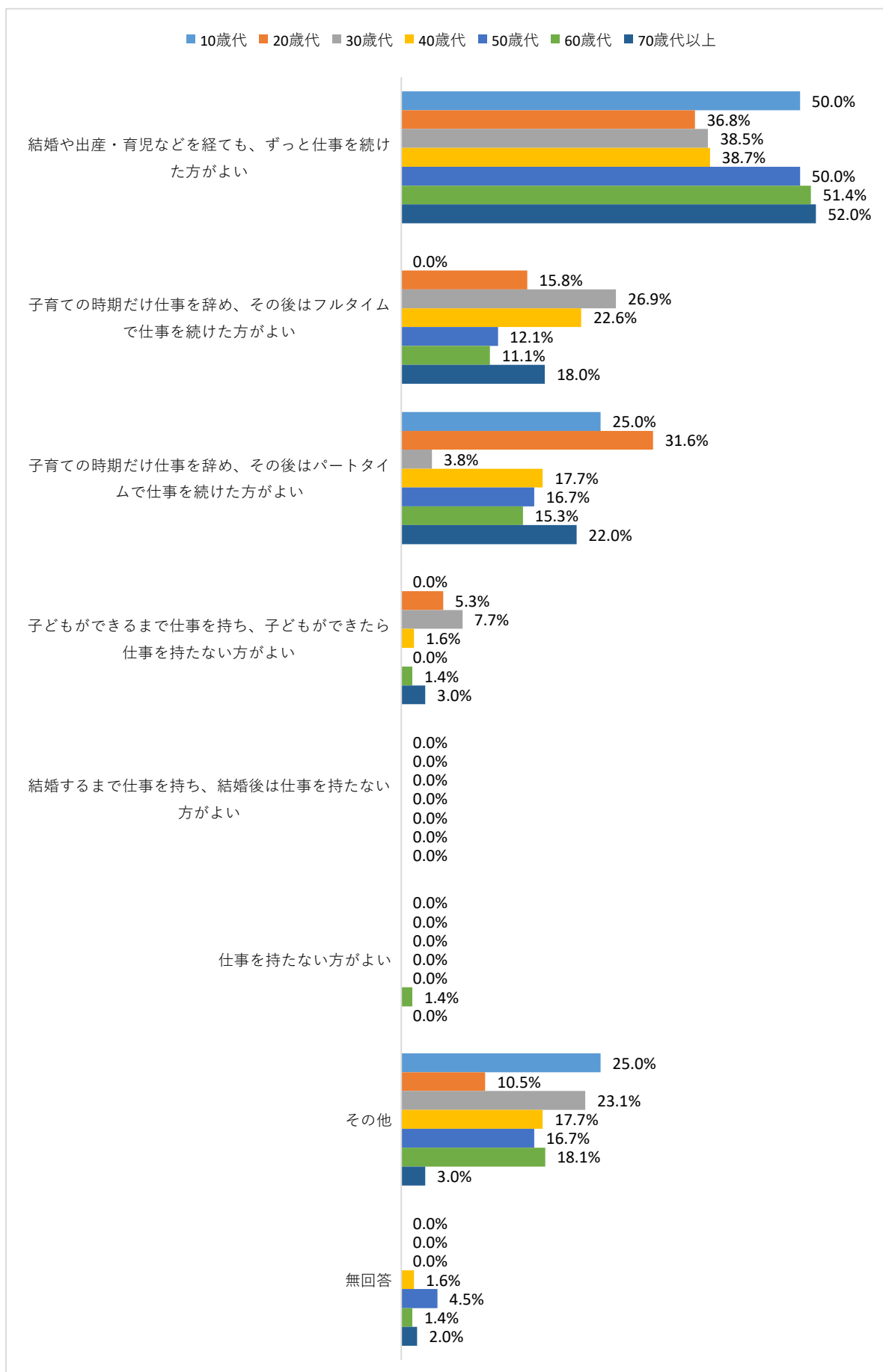
男女別にみると、男性、女性ともに「結婚や出産・育児などを経ても、ずっと仕事を続けた方がよい」との回答が最も多く、次いで、男性は「子育ての時期だけ仕事を辞め、その後はフルタイムで仕事を続けた方がよい」と回答した方が多いですが、女性は「子育ての時期だけ仕事を辞め、その後はパートタイムで仕事を続けた方がよい」と回答した方が多くなっています。

【回答数 男性133 女性198】



年代別では、以下のような結果になりました。

【回答数 10歳代：4 20歳代：19 30歳代：26 40歳代：62 50歳代：66 60歳代：72 70歳以上：100】



＜その他＞

（男性・30歳代）

- それぞれの家庭状況や母親のキャパシティによって変わってくると思うので、一概にどれが良いとは答えられないです。
- 子供の年齢に合わせて仕事の復帰をした方が良い。

（男性・40歳代）

- 本人に合った働き方でよいのではないかな。周りのフォローが必要。
- キャリアを優先すると結婚や出産の機会は減ると思います。
- その人が望む働き方ができるのがよい。（選択肢があること）
- 女性だけでなく男性も選択できることが大事。続けたい人、子育て期間ほしい人、それぞれ。

（男性・50歳代）

- こうしたらよいという考えはなく、環境を整えば出来ることをしたらよい。
- 仕事を持つ持たないは、当人が自由に選択できるのが大切だと思う。
- その家庭や環境によって違うと思います。
- 上記以外の働き方もあるのでは？
- 平等の話なのであれば、それは性別ではなく個人の考えなのでは？
- 本人、個々の自由だと思う。

（男性・60歳代）

- 個人の考え方でいい。
- 人それぞれで良いと思う。

（男性・70歳代以上）

- 夫婦でよく話し合い、お互いに希望を大事にして将来設計をたてると良い。

（女性・10歳代）

- 子育ての時期は育休などを取り、ある程度大きくなったら女性が生きたいように生きれば良いと思う。

（女性・20歳代）

- 各家庭、個人によって考え方や生活状況で変わるので、自分がこうした方がよいとは選択出来ない。

（女性・30歳代）

- その人がしたいようにすればいい。
- 好きにすればいいと思う。
- 家庭に合ったやり方でいいと思う。
- 子どもが中学高校くらいまで出来る範囲で子育て中心。その後は仕事をできる。

（女性・40歳代）

- 個人の自由。
- 個々の希望が叶うとよい。
- それぞれの価値観は違うので一概にはいえません。
- 人それぞれだし、「この方がよい」とはいいきれない。
- 人それぞれ。

（女性・50歳代）

- 個人の自由。その自由に対応できる社会を作るべき。
- 本人の考え方だと思うが、今の状態だと働かないと生活できない。
- 個人の考え方や経済力によるので一概には言えない。

(女性・60歳代)

- 各自の考えでいい。
- 個人の考え方なので別に何とも考えません。
- 「方がよい」という考え方ではなく個人の希望・選択が保障されるようになってほしい。
- ケースバイケースで。
- いろいろあっていいと思う。
- 個人の考え方で良いと思います。
- 個人の考えによる。
- それぞれの考え方、環境によって自由に働けたらいいと思う。働かないという選択もいいと思う。

(女性・70歳代以上)

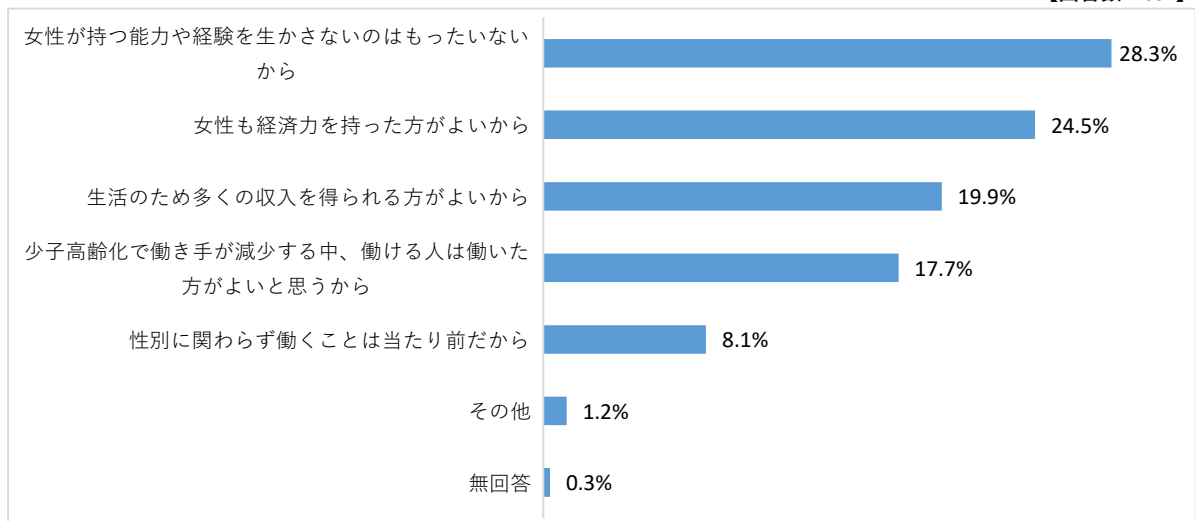
- わからない。

※問5で「結婚や出産・育児などを経ても、ずっと仕事を続けた方がよい」「子育ての時期だけ仕事を辞め、その後はフルタイムで仕事を続けた方がよい」「子育ての時期だけ仕事を辞め、その後はパートタイムで仕事を続けた方がよい」を選んだ方
問5-2 女性が仕事を持つ方がよいと考える理由はなんですか。(複数回答)

問5で「結婚や出産・育児などを経ても、ずっと仕事を続けた方がよい」「子育ての時期だけ仕事を辞め、その後はフルタイムで仕事を続けた方がよい」「子育ての時期だけ仕事を辞め、その後はパートタイムで仕事を続けた方がよい」を選んだ方に、女性が仕事を持つ方がよいと考える理由をたずねたところ、「女性が持つ能力や経験を生かさないのはもったいないから」との回答が最も多く、次いで「女性も経済力を持った方がよいから」との回答になっています。

(複数回答)

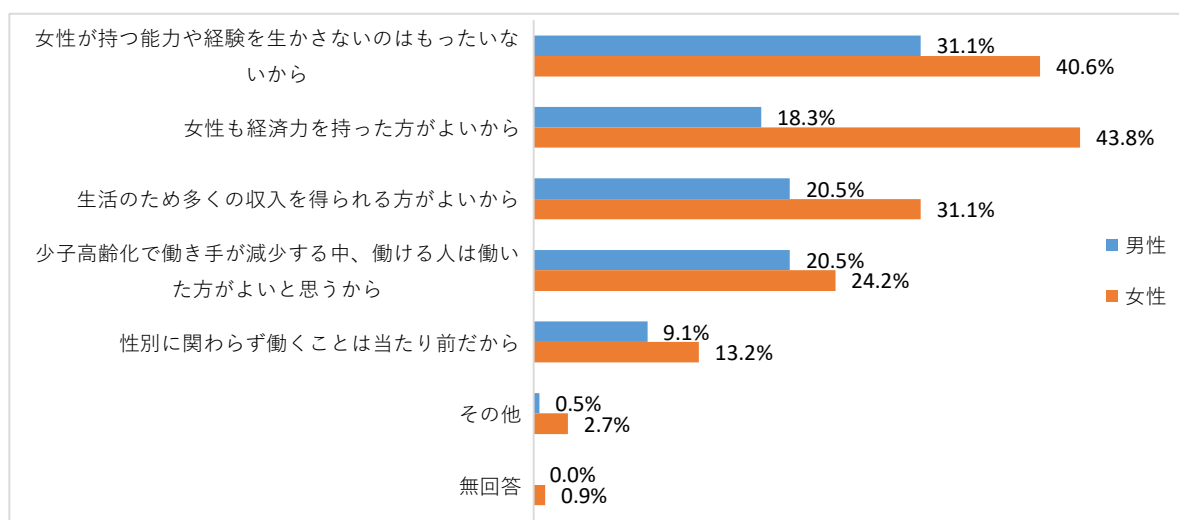
【回答数 604】



男女別にみると、男性は「女性が持つ能力や経験を生かさないのはもったいないから」との回答が最も多いですが、女性は「女性も経済力を持った方がよいから」との回答が最も多くなっています。

〈男女別〉

【回答数 男性219 女性434】



〈その他〉

（男性・70歳代以上）

- ・本人の考えを一番に考え実行することです。

（女性・30歳代）

- ・自身の財源を確保し、生活や人生を充実させるため。

（女性・40歳代）

- ・社会のつながりを一番感じることができる。

（女性・50歳代）

- ・女性も収入がないと生活が成り立たなくなるから。
- ・社会とつながっていた方がよいと思うから。

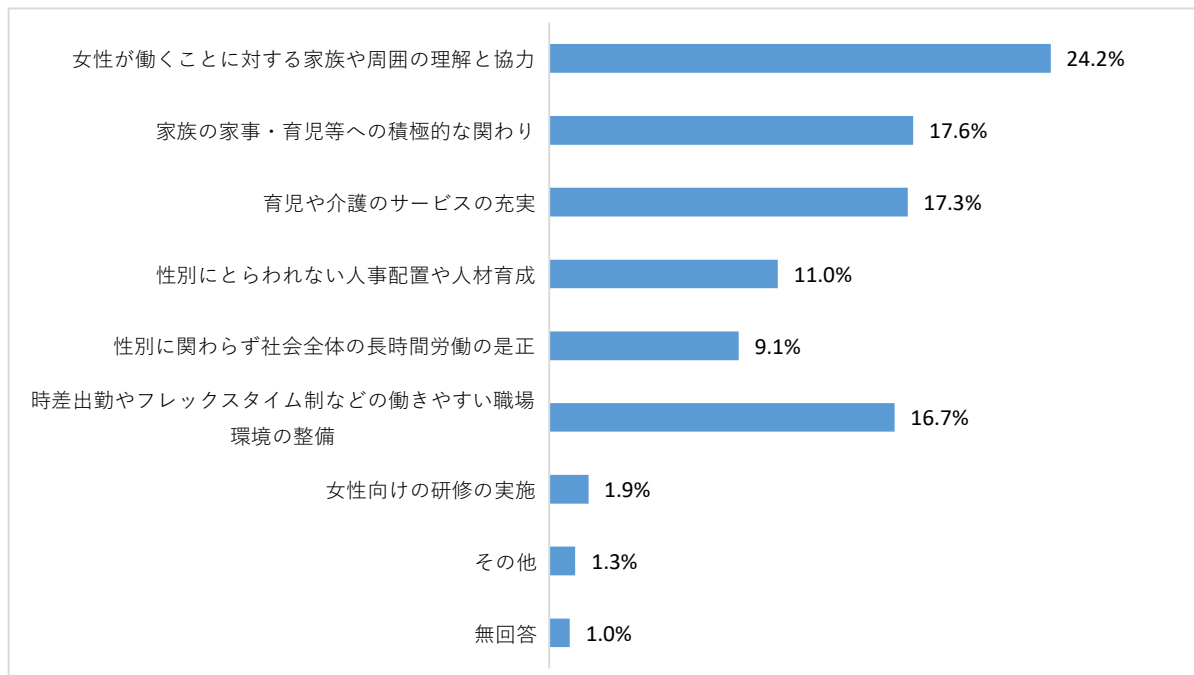
（女性・70歳代以上）

- ・子育て、手のかかるうちは保育所・学童で申込者全員みてあげないと、子どもの人数増えない。働くまで20年あるのだから。

問6 女性が仕事を続けていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(複数回答)

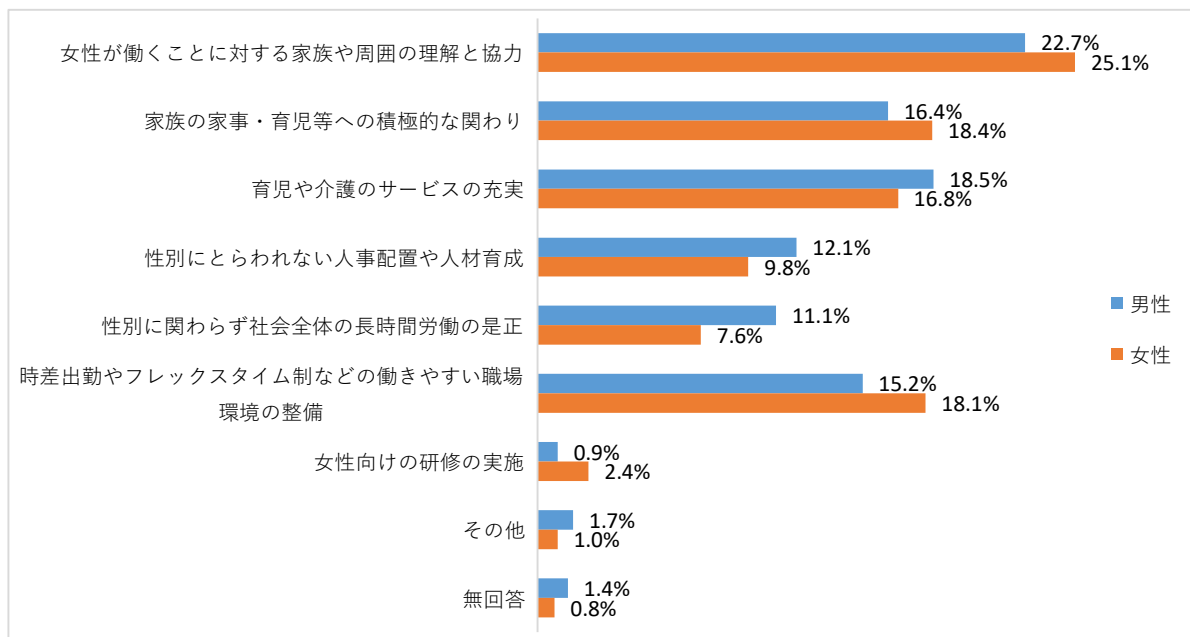
女性が仕事を続けていくために必要だと思うことをたずねたところ、「女性が働くことに対する家族や周囲の理解と協力」との回答が一番多く、次いで「家族の家事・育児等への積極的な関わり」「育児や介護のサービスの充実」「時差出勤やフレックスタイム制などの働きやすい職場環境の整備」との回答が多くなっています。

【回答数 1,116】



＜男女別＞

【回答数 男性422 女性630】



＜その他＞

（男性・40歳代）

- ・男女関係なくコワーキングの推進。
- ・出産・育児休暇の穴を臨時人員で補填できる環境。看護師・保育士・技師などの専門性の高い職種のフリーで身軽な人員を全国的に管理。

（男性・50歳代）

- ・「女性が」と考えること自体が不平等ではないか。男女とも平等に周囲の理解と協力、働きやすい職場環境が必要。
- ・同一の賃金。
- ・女性は女性向けの仕事をした方が良い。

（男性・60歳代）

- ・育児や介護サービスにたずさわる人へのフォロー（サービスの充実）。

（女性・20歳代）

- ・休業時の手当を厚くするべき。お給料も育休の時は、6・7割しかでない、全く出ない会社が多すぎる。だから結局仕事辞めなきゃいけないし、辞めざるをえなくなる。でも仕事を辞めたら金銭的に厳しい。だから子供産む人少ない。旦那のお給料だけじゃ今の世の中生きていくのきついよ！そういうのを公務員から始めてほしい。子供がいる人は子供の休暇制度を作ったりするのもどうかな？熱出た、風邪引いた行事等色々あると思う。有給だけでなくて＋ α で。

（女性・30歳代）

- ・産休育休をとっても周りに迷惑がかからないシステム（欠員補充など）。
- ・子育てする時間優先に考えられる時間の確保。1日が足りないです。

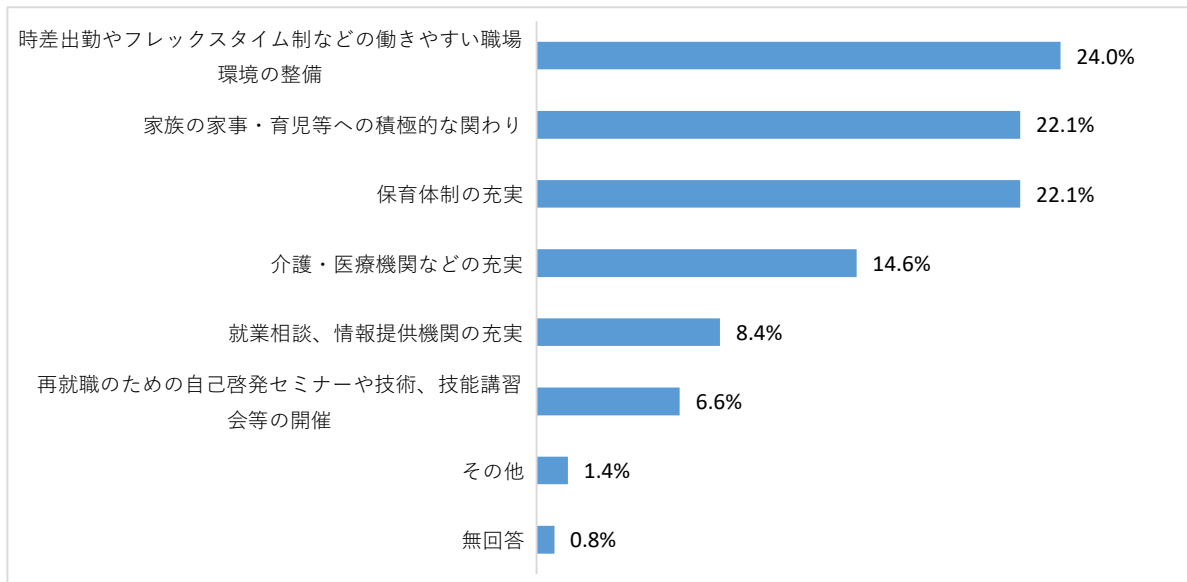
（女性・40歳代）

- ・自分が休んでも代わりがいる職場環境。

問7 いったん離職した女性が再就職や起業にチャレンジするためには、どのようなことが必要だと思いますか。（複数回答）

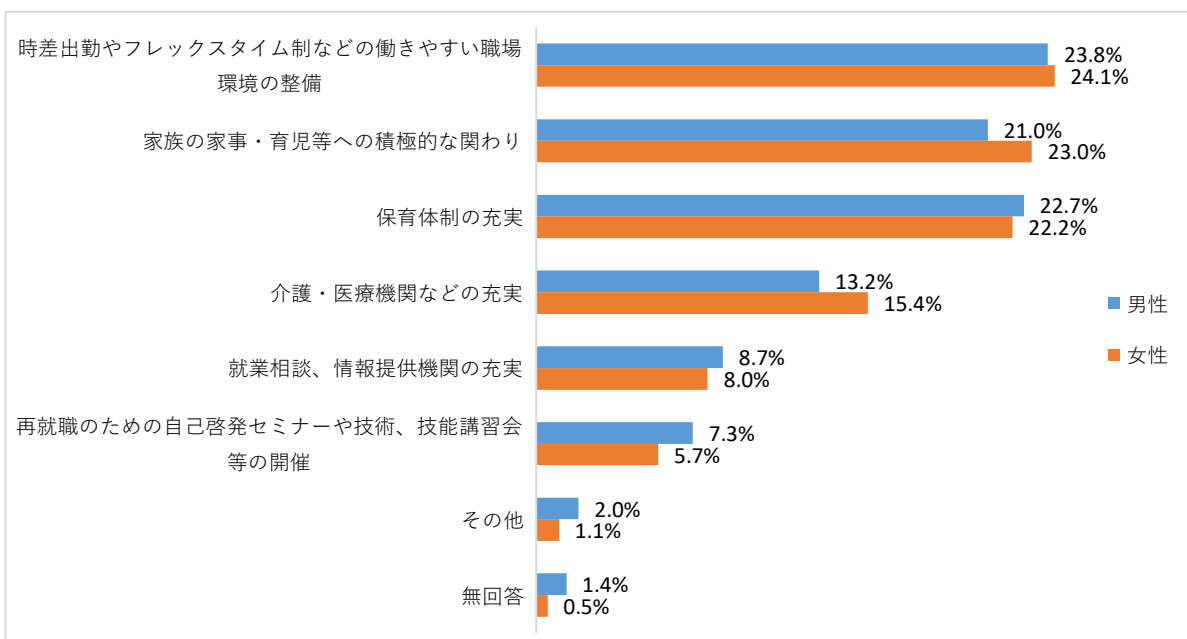
いったん離職した女性が再就職や起業にチャレンジするために必要なことをたずねたところ、「時差出勤やフレックスタイム制などの働きやすい職場環境の整備」との回答が最も多く、次いで「家族の家事・育児等への積極的な関わり」「保育体制の充実」との回答が多くなっています。

【回答数 977】



〈男女別〉

【回答数 男性357 女性564】



〈その他〉

（男性・20歳代）

- ・わからない。

（男性・40歳代）

- ・コワーキングの推進。
- ・居場所を残すこと。いなくても回る仕事なら戻れなくなることもある。枕営業強要の防止策や厳罰化。

（男性・50歳代）

- ・いったん離職の理由は様々あると思うが、出産であれば上記3個目まで必要と考えるが、通常の離職であれば、女性だけでなく男女平等にチャレンジする機会の充実に努めるべきと思います。
- ・離職前と同程度の賃金。育休からの復帰であれば同内容の仕事ができる体制。

（男性・70歳代以上）

- ・上記事項全て。

（女性・30歳代）

- ・起業セミナー。

（女性・40歳代）

- ・受け入れやすいような環境を会社が積極的に協力し増やすべし。
- ・周りの理解と協力。
- ・働き始めても今と同じように家事をこなさいといけないと思っていると思うので、そうじゃなくても大丈夫だという気持ちにさせたいし、本当に大丈夫な環境を提供できたら進みやすいと思う。

（女性・60歳代）

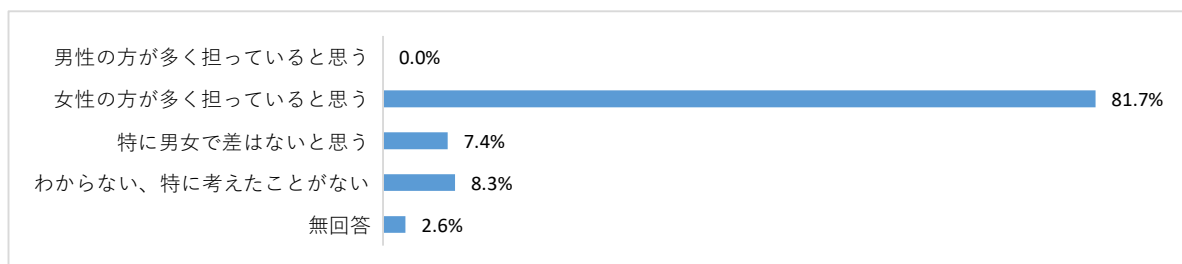
- ・個人の健康状態。

4 男性が家事・育児等に関わることについて

問8 男女で家事・育児等の分担に差があると思いますか。

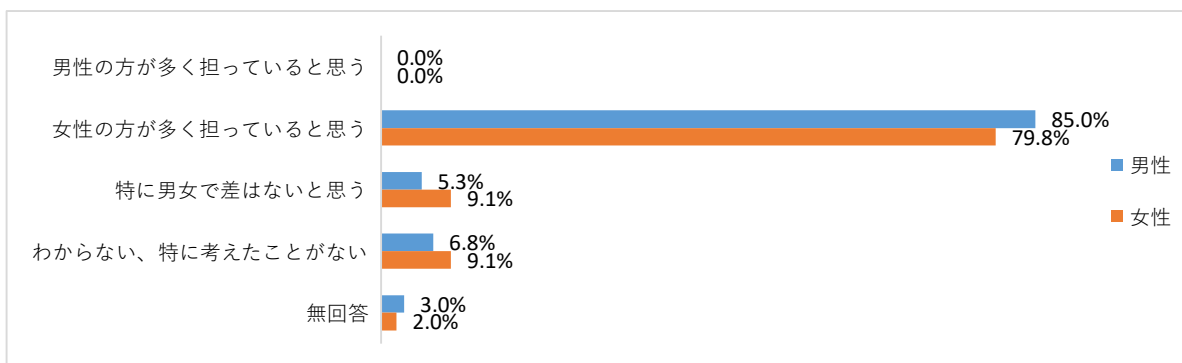
男女で家事・育児等の分担に差があると思うかたずねたところ、全世代で「女性の方が多く担っていると思う」との回答が多くなっています。また、「男性の方が多く担っていると思う」との回答は全世代で0%でした。

【回答数 350】



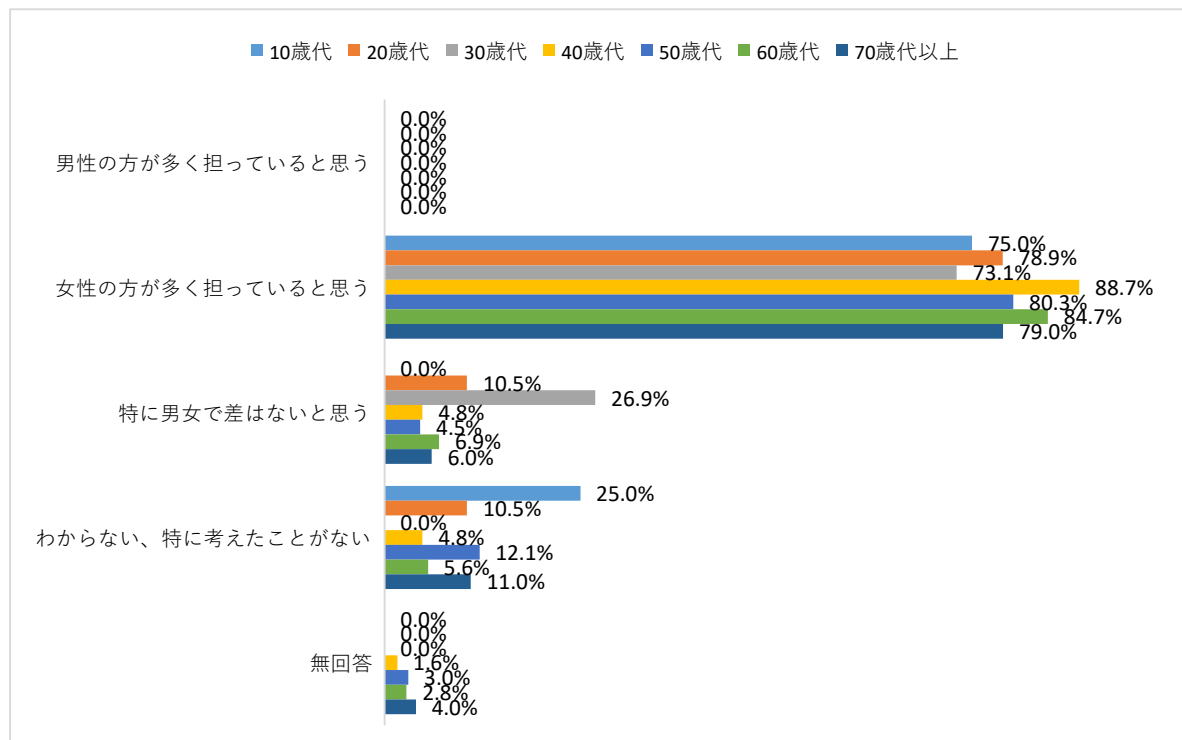
＜男女別＞

【回答数 男性133 女性198】



＜年代別＞

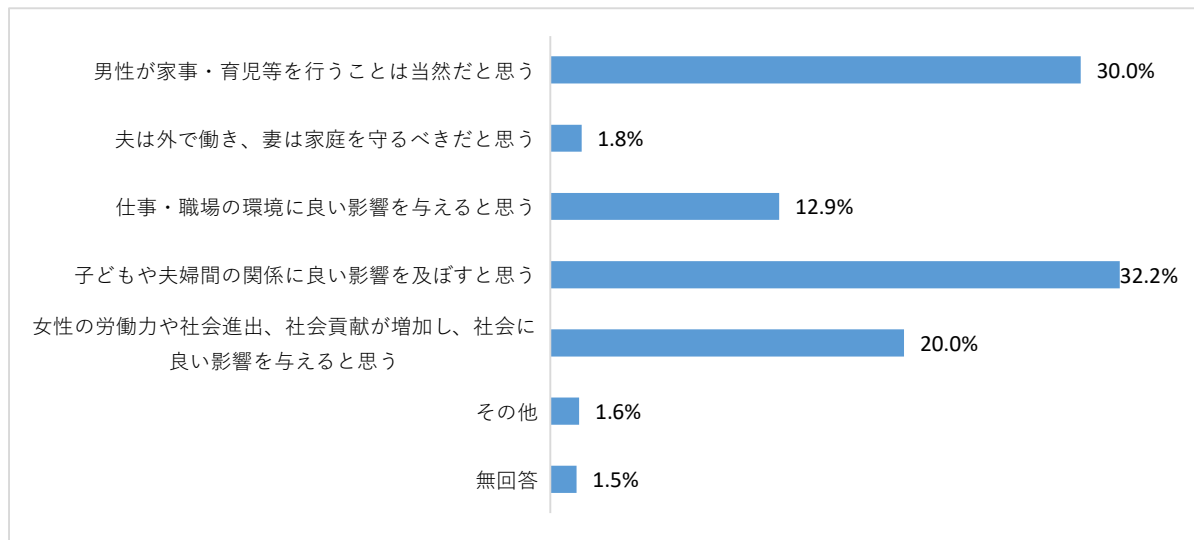
【回答数 10歳代：4 20歳代：19 30歳代：26 40歳代：62 50歳代：66 60歳代：72 70歳以上：100】



問9 男性の家事・育児等の関わりについて、どうお考えですか。
(複数回答)

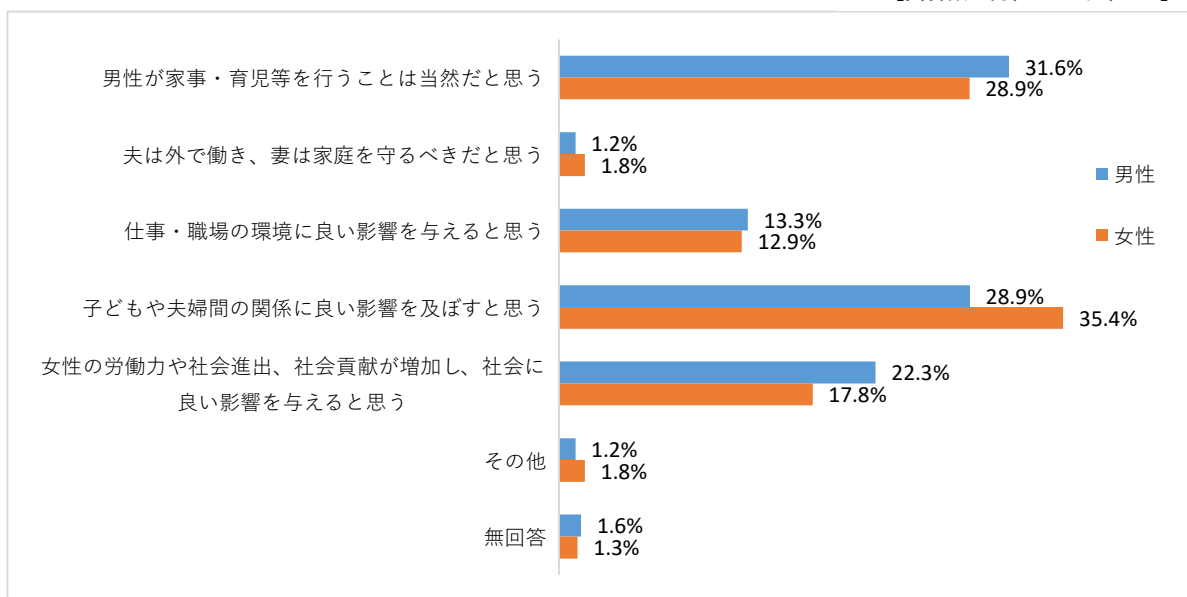
男性の家事・育児の関わりについて、どう思うかたずねたところ、「子どもや夫婦間の関係に良い影響を及ぼすと思う」が最も多く、次いで「男性が家事・育児等をすることは当然だと思う」と回答した方が多い結果となりました。

【回答数 680】



〈男女別〉

【回答数 男性256 女性381】



〈その他〉

（男性・20歳代）

- ・自身の労働意欲。
- ・わからない。

（男性・40歳代）

- ・パートナーによる。パートナーが家事・育児を自分の仕事とするならそれを尊重すべきだし、半々でとするならそれも尊重。

（女性・20歳代）

- ・その家庭、仕事、健康状態などによって選択肢が変わってくるから。

（女性・40歳代）

- ・会社側がサポートできる環境をつくるべし。

（女性・50歳代）

- ・自分の子なのだから当然だと思う。

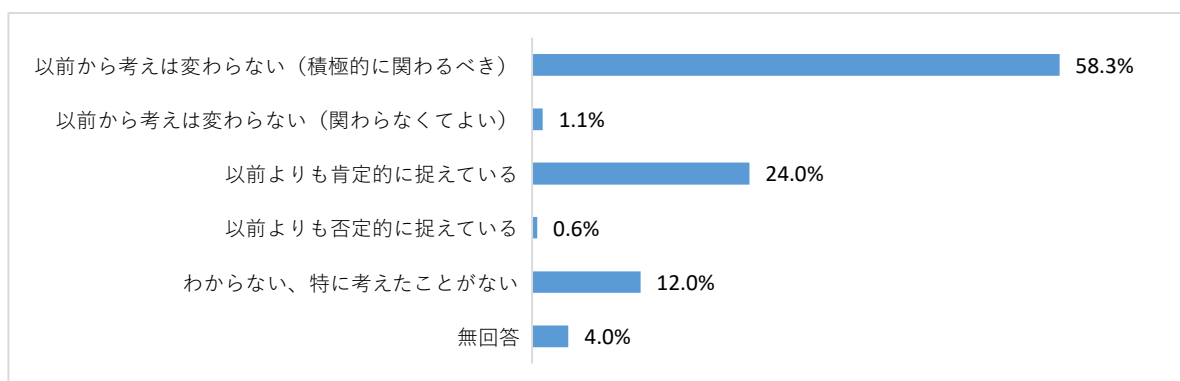
（女性・60歳代）

- ・考えすぎずできる事をやる。

問10 男性が家事・育児等に積極的に関わることについて、以前と比べて考え方は変わりましたか。

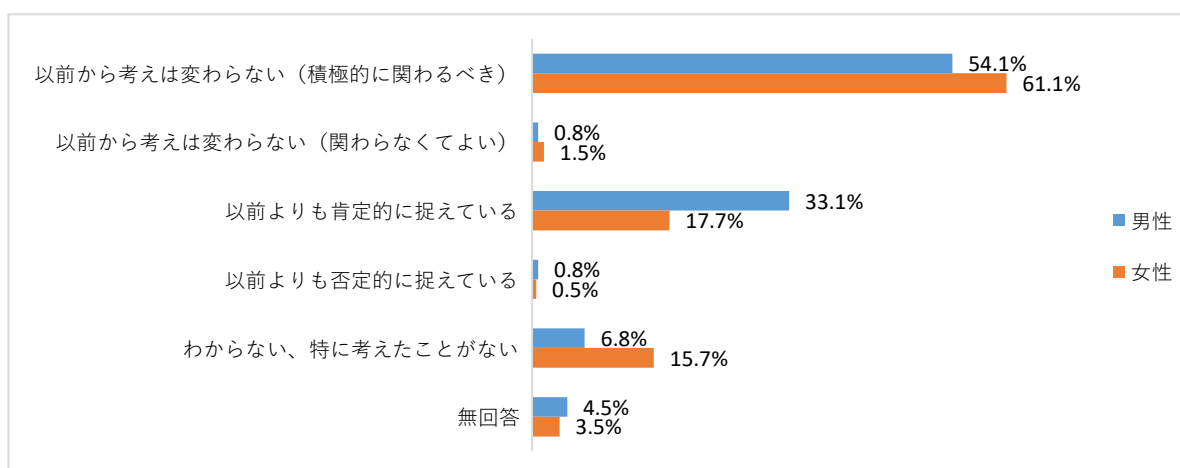
男性が家事・育児等に積極的に関わることについて、どう思っているかたずねたところ、「以前から考えは変わらない（積極的に関わるべき）」と回答した方が最も多く、次いで「以前よりも肯定的に捉えている」との回答となり、「以前から考えは変わらない（関わらなくてよい）」「以前よりも否定的に捉えている」と回答した方は少ない結果となりました。

【回答数 350】



〈男女別〉

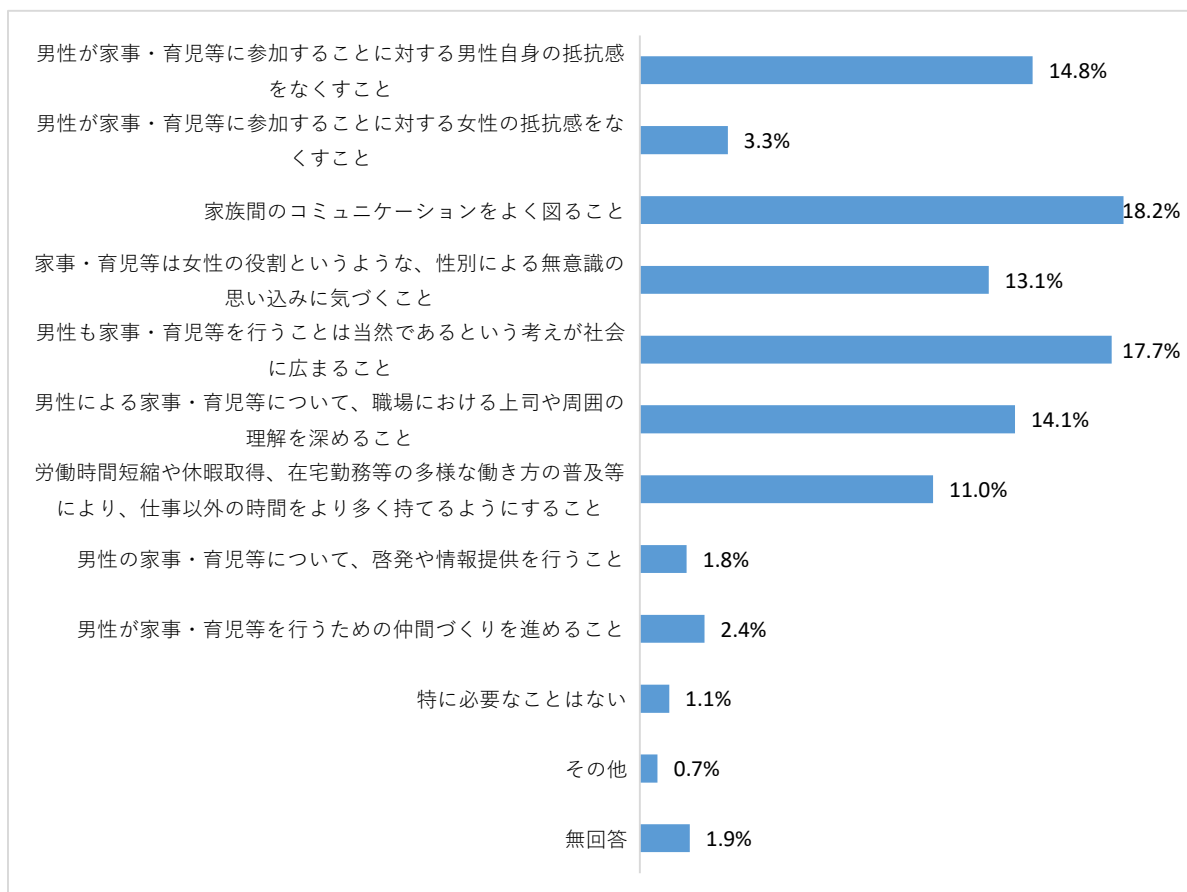
【回答数 男性133 女性198】



問11 男性が家事・育児等に積極的に関わるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（最もあてはまるもの3つまで）

男性が家事・育児等に積極的に関わるために必要だと思うことをたずねたところ、「家族間のコミュニケーションをよく図ること」「男性も家事・育児等を行うことは当然であると考えが社会に広まること」と回答した方が多い結果となりました。

【回答数 908】



〈その他〉

（男性・40歳代）

- ・家事・育児を行える余裕がある働き方が可能であること。
- ・幼い頃から家事スキルを身につけさせること。知らないからできないの言い訳はさせない。

（男性・50歳代）

- ・産休、育休中の職場の人員補充配置と復帰先の保証。

（女性・30歳代）

- ・自分たちの親世代の意識改革。結局は自分の親たちの声が一番傷つくし気にする。

（女性・60歳代）

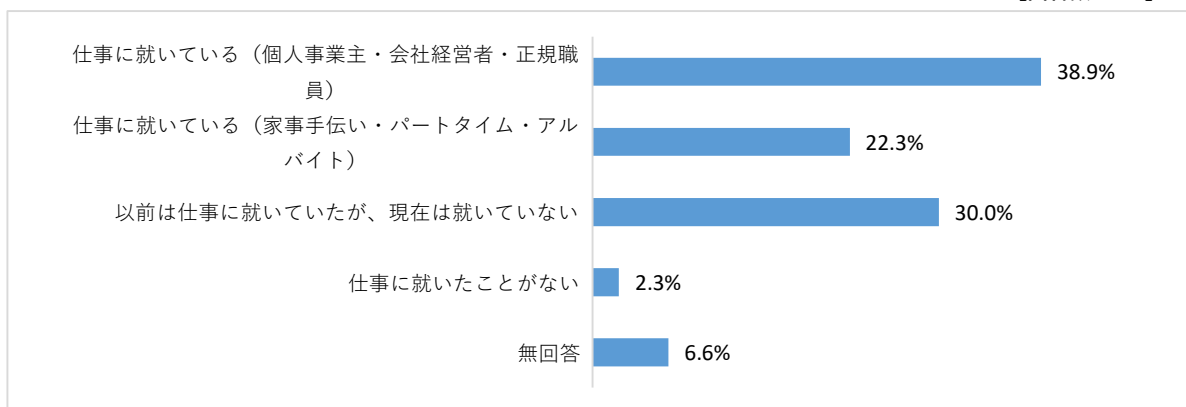
- ・自分でできる事やりたい事を考える。

5 現在の就業状況について

問12 現在収入を得る仕事に就いていますか。

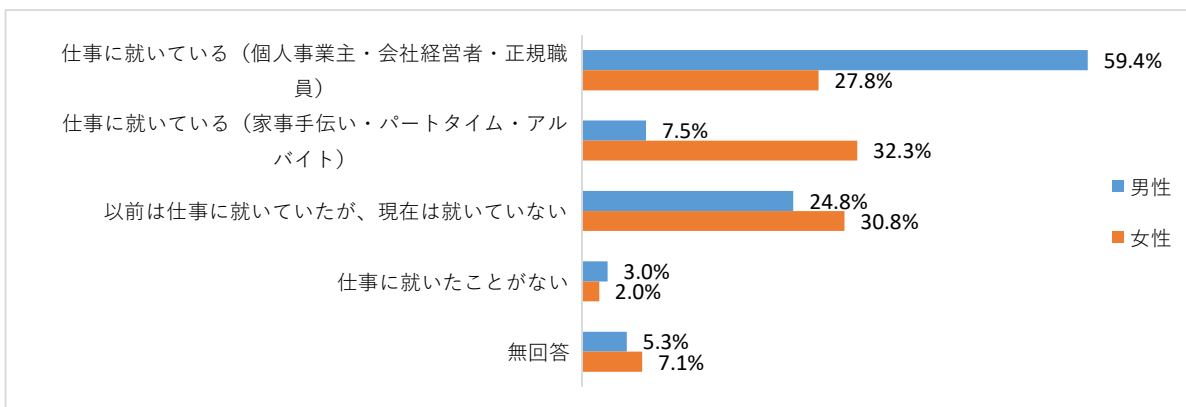
現在収入を得る仕事に就いているかたずねたところ、「仕事に就いている（個人事業主・会社経営者・正規職員）」と回答した方が最も多い結果となりました。男女別にみると、男性は「仕事に就いている（個人事業主・会社経営者・正規職員）」との回答が最も多く、女性は「仕事に就いている（家事手伝い・パートタイム・アルバイト）」との回答が最も多くなっています。

【回答数 350】



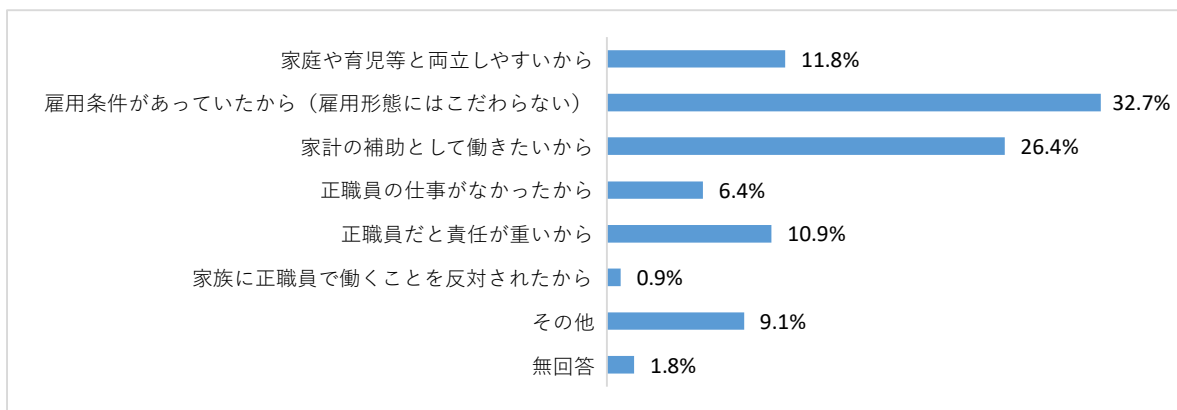
＜男女別＞

【回答数 男性133 女性198】



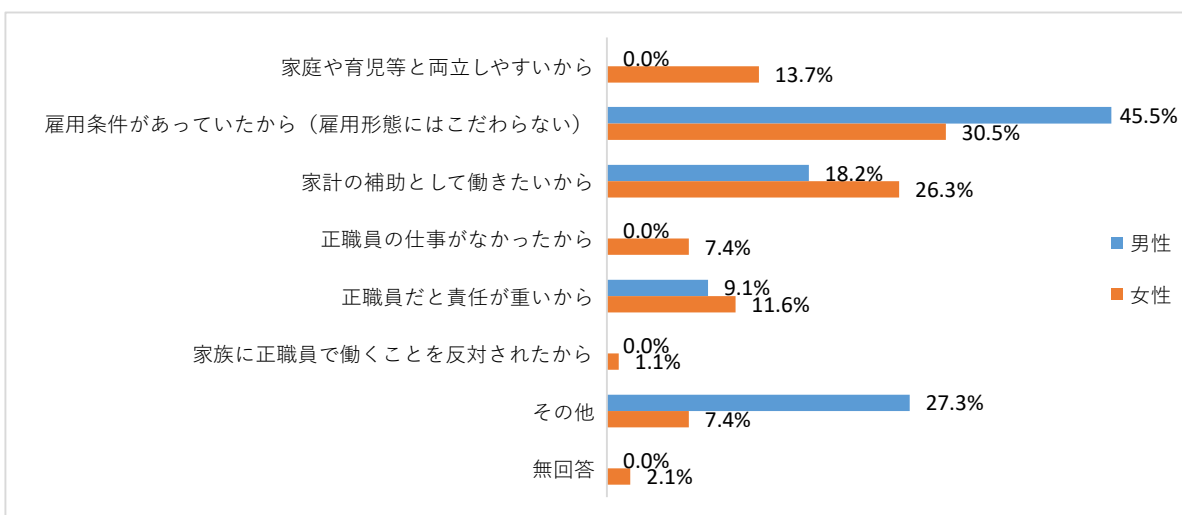
※問12で「仕事に就いている（家事手伝い・パートタイム・アルバイト）」と回答した方
 問12-2 現在の雇用形態を選んだ理由を教えてください。（複数回答）

問12で「仕事に就いている（家事手伝い・パートタイム・アルバイト）」と回答した方に、現在の雇用形態を選んだ理由をたずねたところ、「雇用条件があっていたから（雇用形態にはこだわらない）」と回答した方が最も多い結果となりました。【回答数 110】



〈男女別〉

【回答数 男性11 女性95】



〈その他〉

（男性・20歳代）

・わからない。

（男性・60歳代）

・会社の都合。

（女性・50歳代）

・昔は結婚・出産で仕事を辞めるのがあたり前だったから、子育てが終わっても年齢で正職にはなれない。

（女性・60歳代）

・経験が役に立つ仕事だと思ったから。

（女性・70歳代以上）

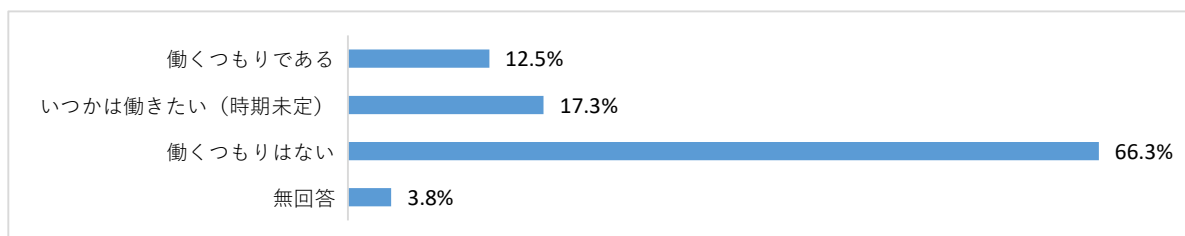
・毎日の生活にハリを持ち充実した人生を送りたいから。

※問12で「以前は仕事に就いていたが、現在は就いていない」と回答した方

問12-3 現在、再就職を希望していますか。

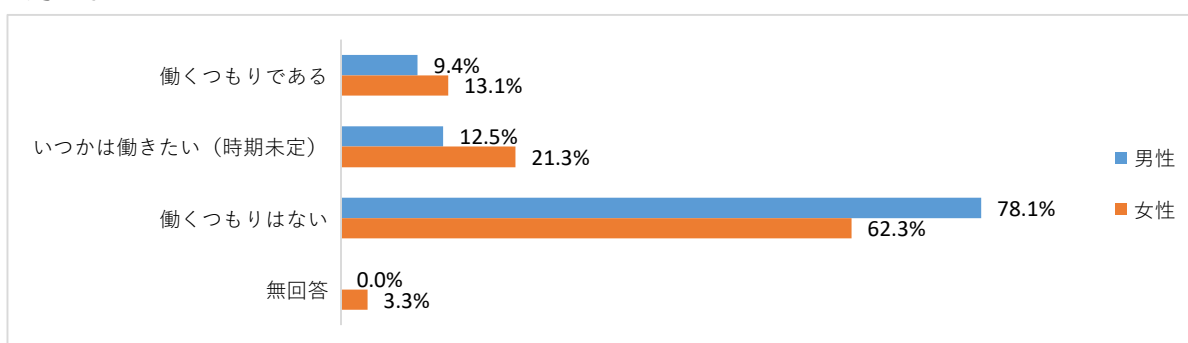
問12で「以前は仕事に就いていたが、現在は就いていない」と回答した方に、再就職を希望しているかたずねたところ、「働くつもりはない」と回答した方が最も多い結果となりました。年代別にみると、50歳代以上の方が「働くつもりはない」との回答が多くなっています。

【回答数 104】



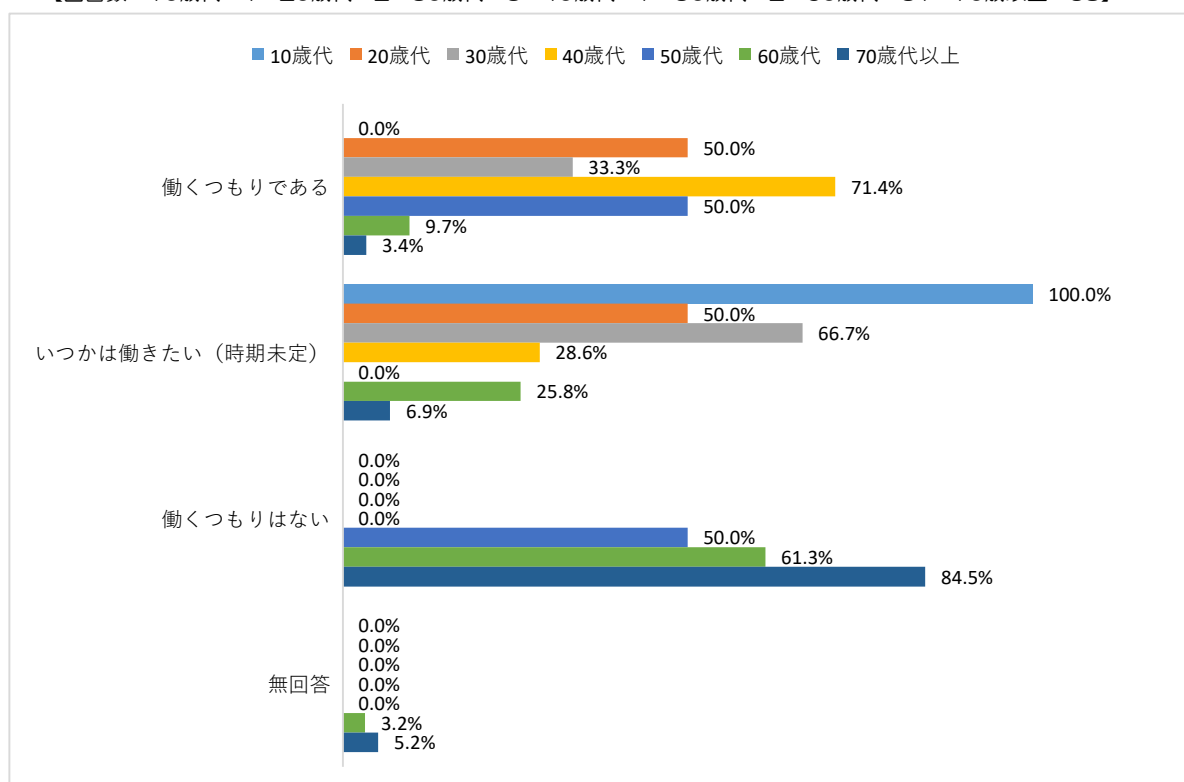
＜男女別＞

【回答数 男性32 女性61】



＜年代別＞

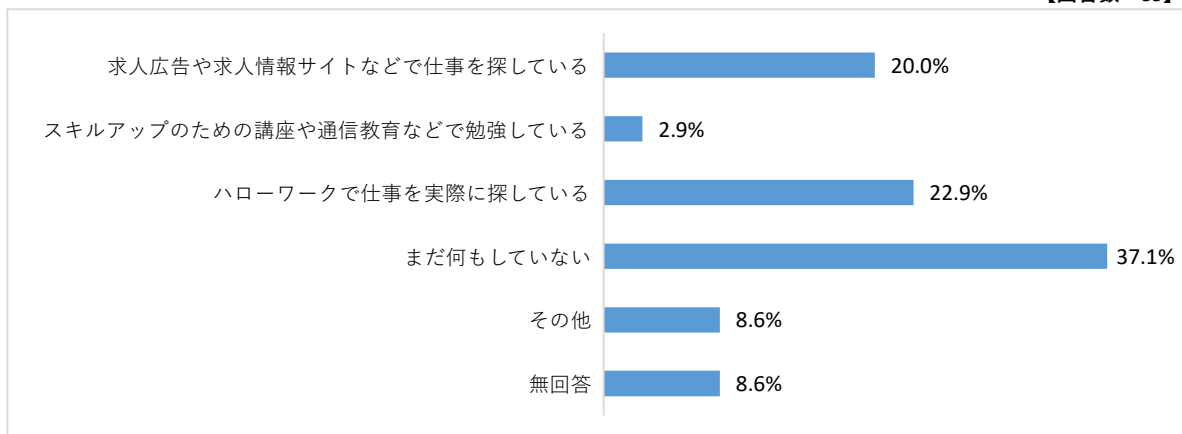
【回答数 10歳代：1 20歳代：2 30歳代：3 40歳代：7 50歳代：2 60歳代：31 70歳以上：58】



※問12-3で「働くつもりである」「いつかは働きたい（時期未定）」と回答した方
 問12-4 再就職に向けた準備でしていることを教えてください。
 （複数回答）

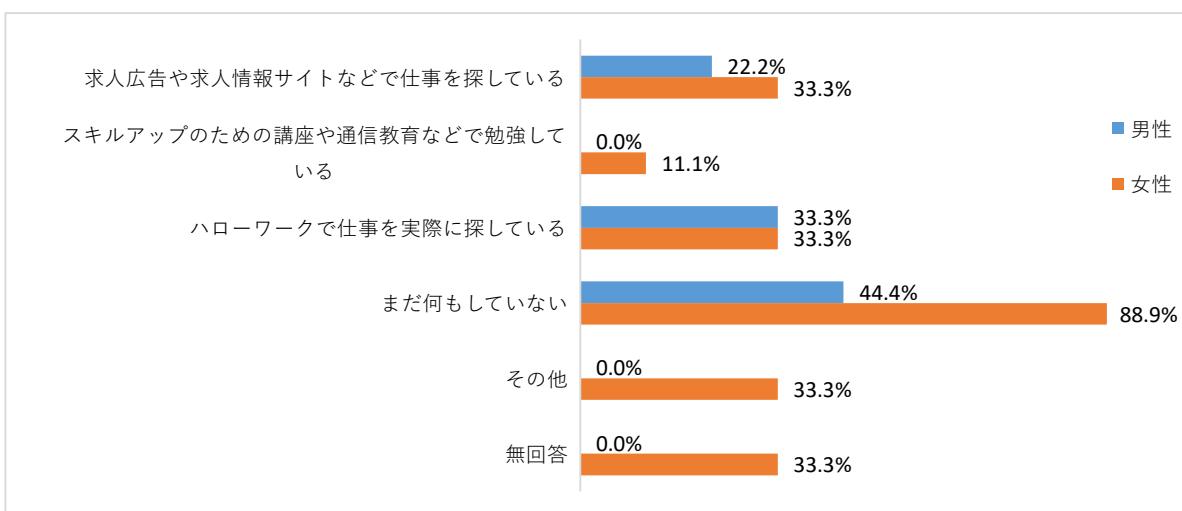
問12-3で「働くつもりである」「いつかは働きたい（時期未定）」と回答した方に、再就職に向けた準備についてたずねたところ、「まだ何もしていない」との回答が最も多い結果となりました。

【回答数 35】



＜男女別＞

【回答数 男性9 女性21】



＜その他＞

（女性・30歳代）

・何も決まっていない。

（女性・40歳代）

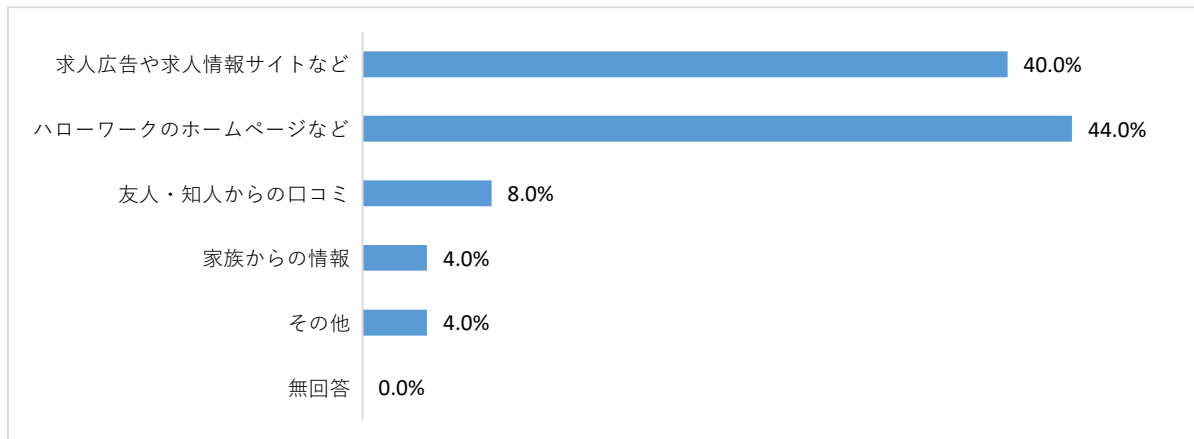
・自営業の為。

（女性・60歳代）

・家庭の事情で仕事もてない。

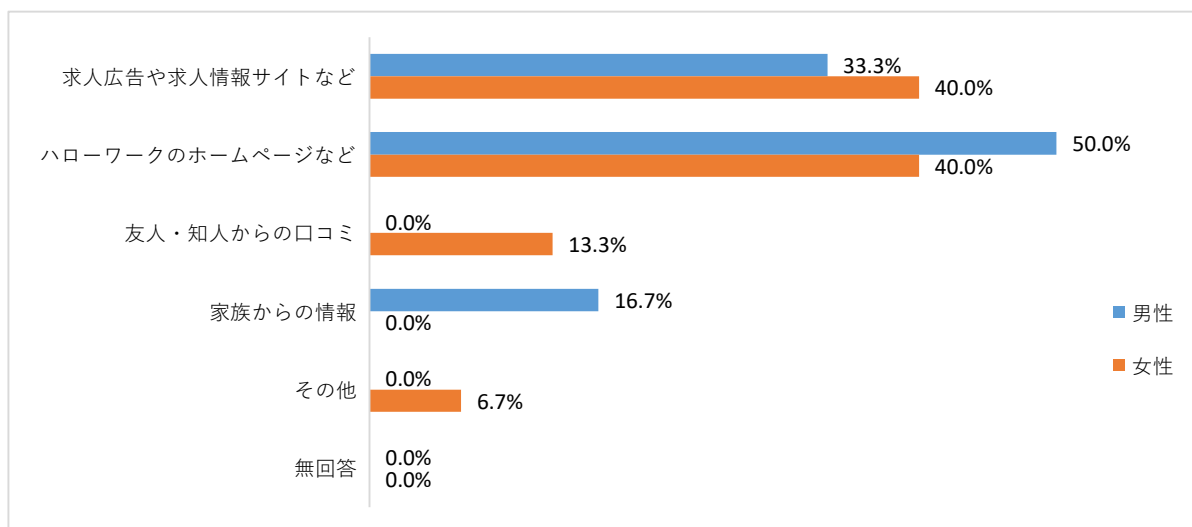
※問12-4で「求人広告や求人情報サイトなどで仕事を探している」「スキルアップのための講座や通信教育などで勉強している」「ハローワークで仕事を実際に探している」と回答した方
問12-5 再就職について情報収集に利用したことがあるものを教えてください。（複数回答）

問12-4で「求人広告や求人情報サイトなどで仕事を探している」「スキルアップのための講座や通信教育などで勉強している」「ハローワークで仕事を実際に探している」と回答した方に情報収集に利用したことがあるものについてたずねたところ、「ハローワークのホームページなど」との回答が最も多い結果となりました。 【回答数 25】



〈男女別〉

【回答数 男性6 女性15】

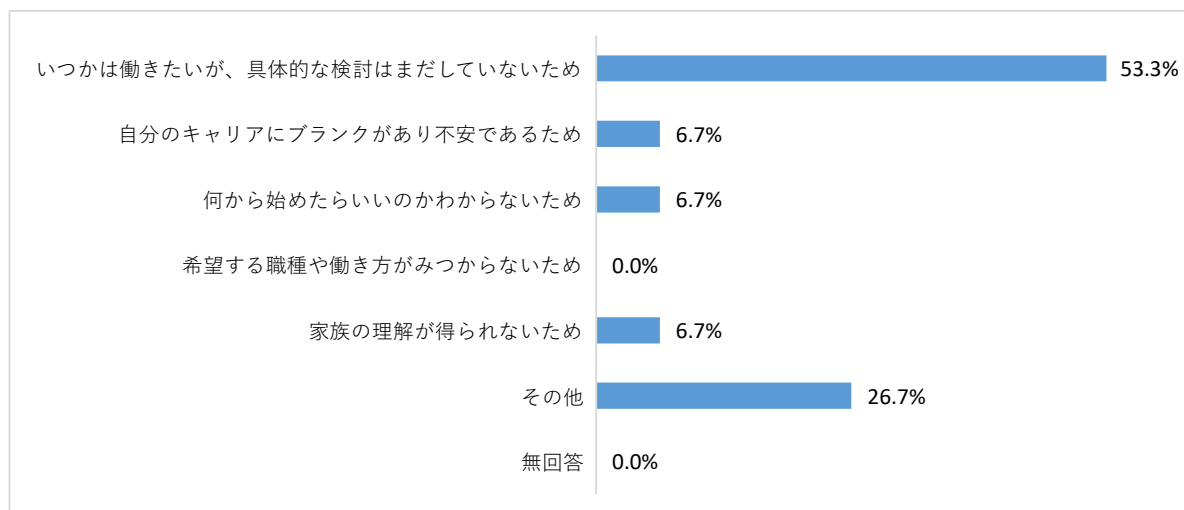


※問12-4で「まだ何もしていない」と回答した方

問12-6 再就職を希望していても、準備を進めていない理由を教えてください。（複数回答）

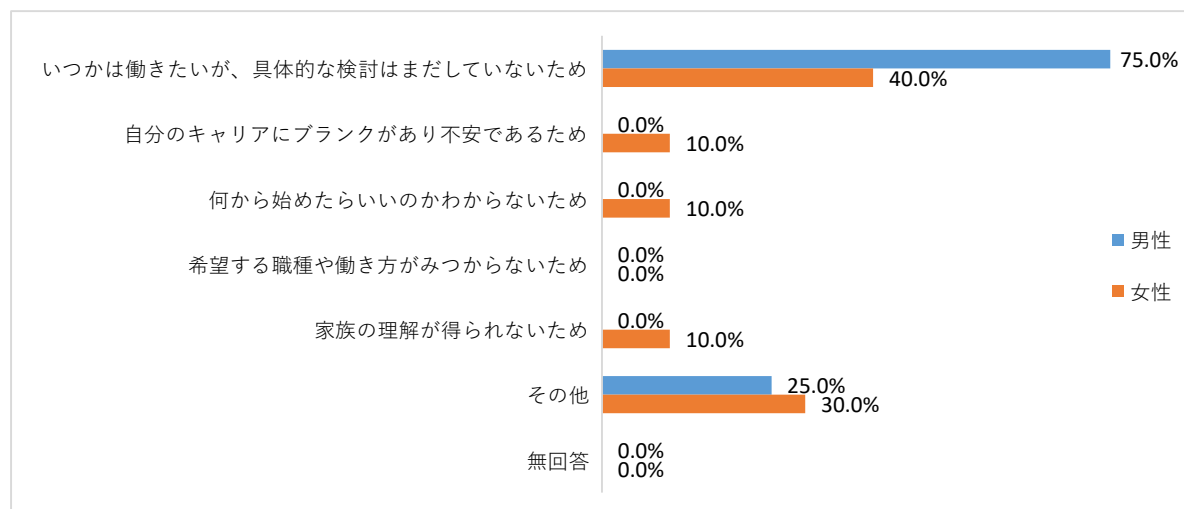
問12-4で「まだ何もしていない」と回答した方に、再就職を希望していても準備を進めていない理由をたずねたところ、「いつかは働きたいが、具体的な検討はまだしていないため」との回答が最も多い結果となりました。

【回答数 15】



＜男女別＞

【回答数 男性4 女性10】



＜その他＞

（男性・60歳代）

- ・両親の介護のため。

（女性・40歳代）

- ・子供がある程度大きくなるまでは家に居たいから。

（女性・60歳代）

- ・特になし。
- ・両親の介護のため。

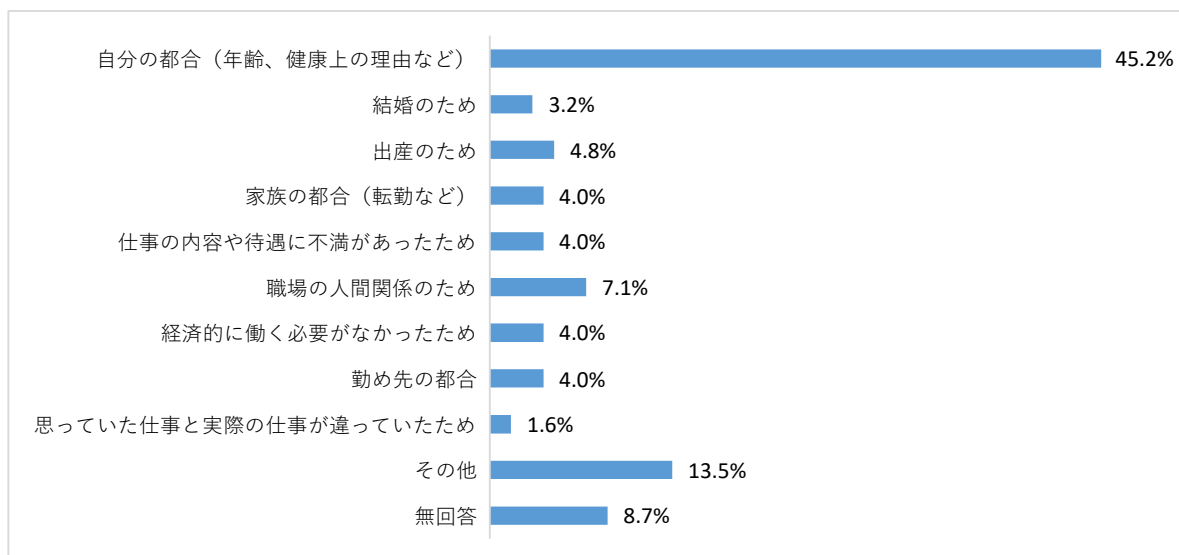
（女性・70歳代以上）

- ・年齢制限あり。
- ・年齢のために…

※問12で「以前は仕事に就いていたが、現在は就いていない」と回答した方
問12-7 仕事を辞めた理由は何ですか。（複数回答）

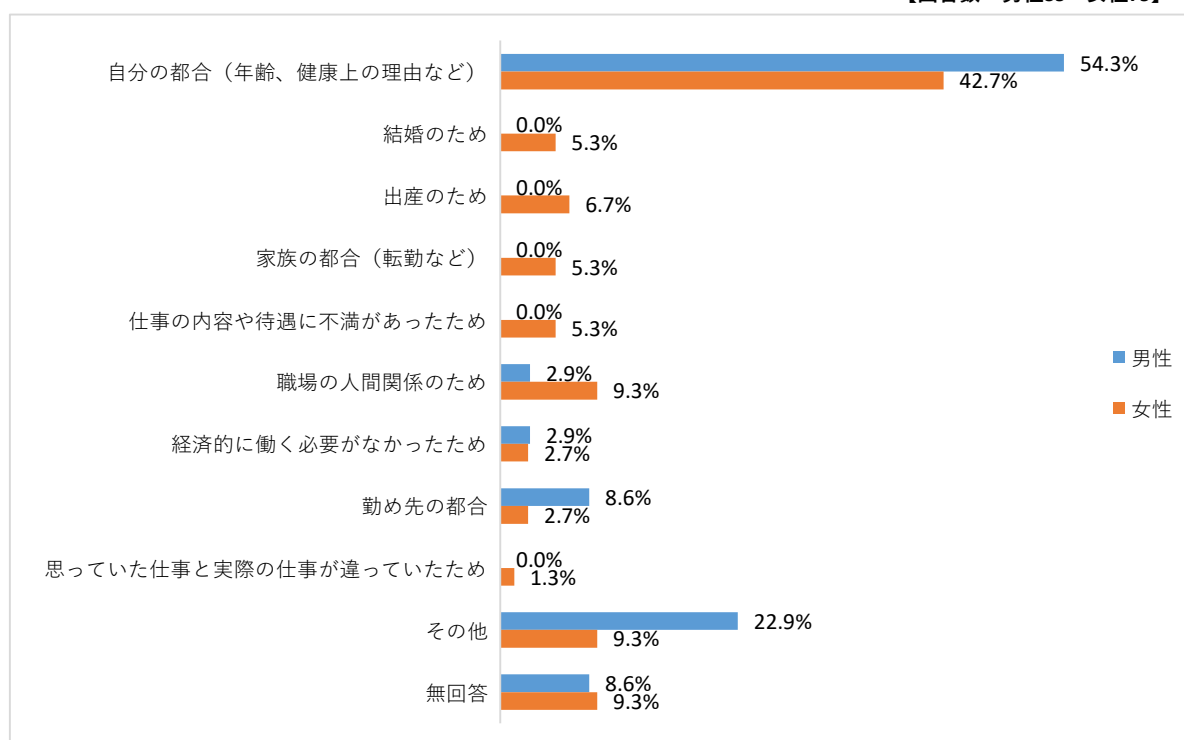
問12で「以前は仕事に就いていたが、現在は就いていない」と回答した方に、仕事を辞めた理由をたずねたところ、「自分の都合（年齢、健康上の理由など）」と回答した方が最も多い結果となりました。

【回答数 126】



＜男女別＞

【回答数 男性35 女性75】



〈その他〉

（男性・60歳代）

- 定年退職をした為、しばらくはゆっくりしたい。
- 定年。
- 廃業した。
- 定年退職後再雇用期間満了のため。
- もういつ死んでもおかしくないと思ったから。生きているうちに好きなことをしておきたい！
- 介護のため。

（男性・70歳代以上）

- 期限がきてちょうどよかったから。
- 定年で退職。

（女性・60歳代）

- 農業なので年齢的なこともあり、お手伝いくらいしかできなくなった。
- 長年働いてきたため今後は自分の趣味に没頭したい。
- 子どもが1人います。娘が結婚し、出産後世話をしやりたく、6ヶ月前から職場の上司にも話をして、シフトにあなをあけたくないし、何より同僚に迷惑をかけたくありませんでしたが、何度話してもらちがあきませんでした。15年勤めましたが自分から辞めました。
- 両親の介護のため。

（女性・70歳代以上）

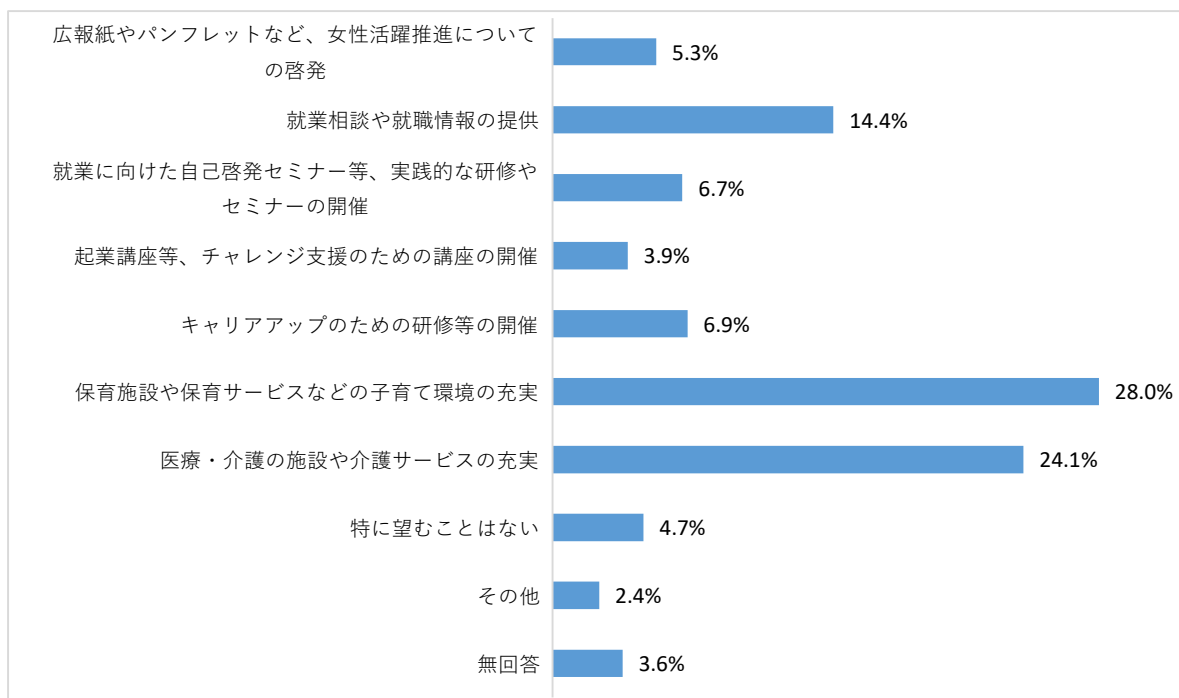
- 夫が病気のため。
- 定年になったため。

6 女性活躍推進に関する今後の取り組みについて

問13 今後、女性の活躍推進について、行政にどのようなことを望まれますか。（複数回答）

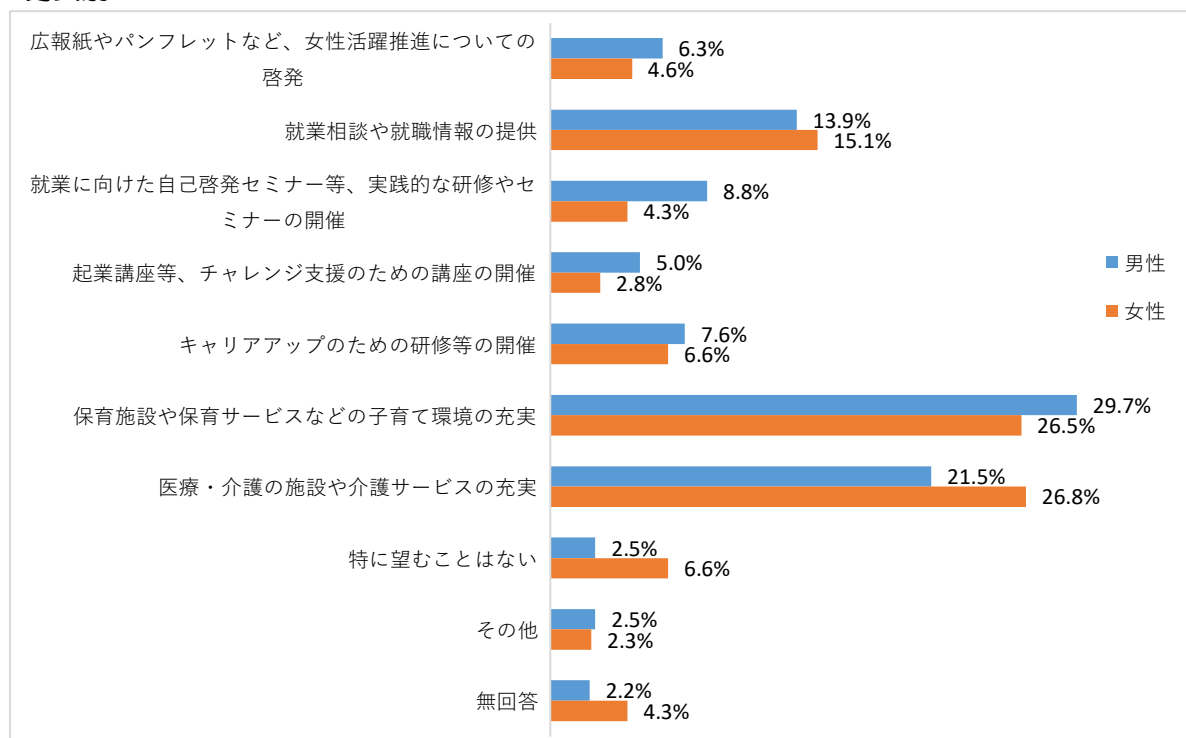
女性の活躍推進について、行政にどのようなことを望むかたずねたところ、「保育施設や保育サービスなどの子育て環境の充実」と回答した方が最も多く、ついで「医療・介護の施設や介護サービスの充実」との回答となっています。

【回答数 750】



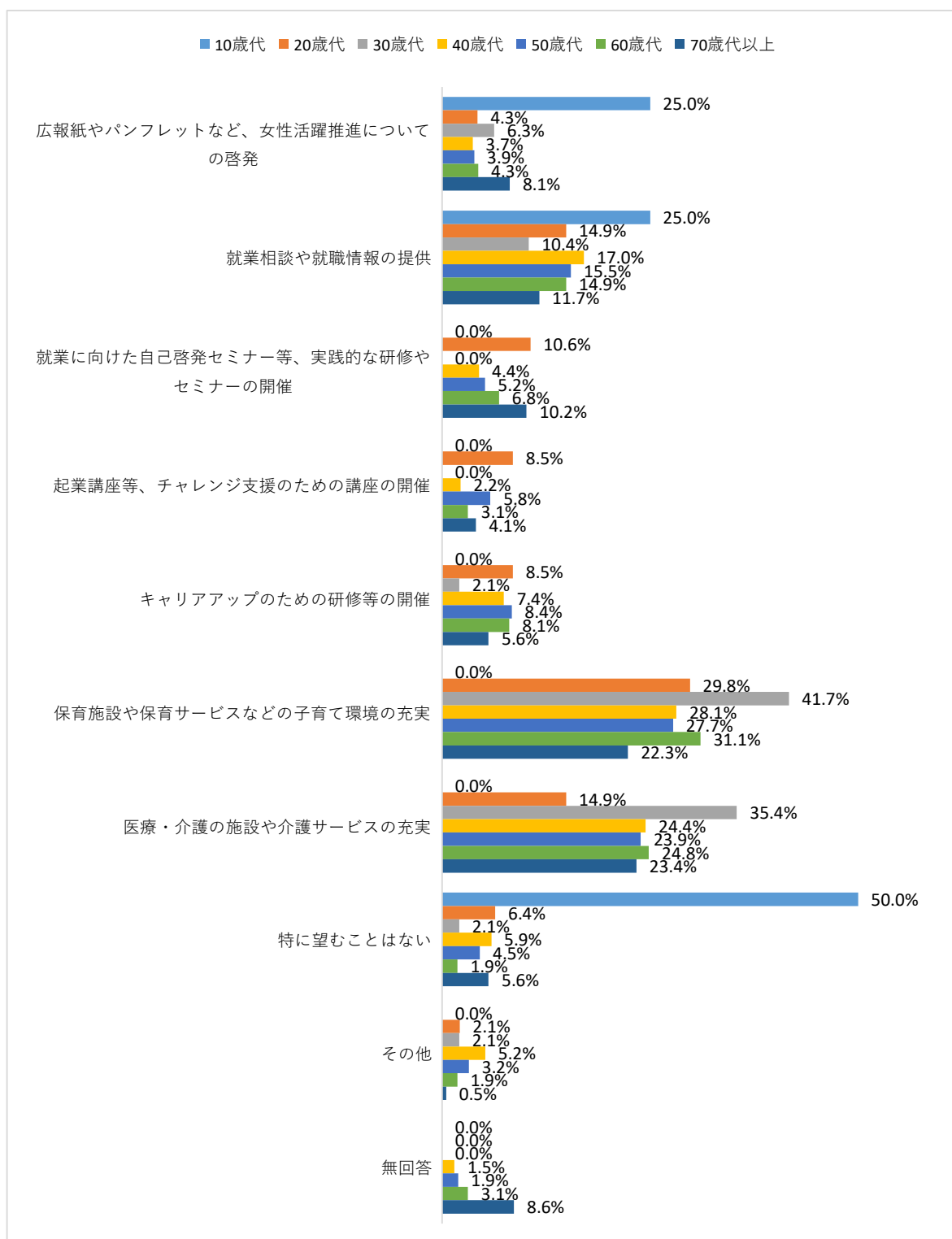
＜男女別＞

【回答数 男性317 女性392】



＜年代別＞

【回答数 10歳代：4 20歳代：47 30歳代：48 40歳代：135 50歳代：155 60歳代：161 70歳以上：197】



〈その他〉

（男性・40歳代）

- ・コワーキングの推進。
- ・保育士や介護士の給料アップや、残業や持ち帰りの仕事への給料未払いをやめるよう指導してほしい。
- ・景気が良くなる（経済政策）雇用が増えると女性も社会に進出しやすくなるかも。
- ・成人前までの女性自身の意識改革。子どものうちから「将来はお母さんになる」と漫然とした道以外を示すこと。

（男性・50歳代）

- ・仕事と子育てが両立できる社会環境の創出。
- ・女性の活躍推進とは、これまでのアンケート項目を見ると外に出て働くことだけなのかと疑問に思う。家にいて育児や家事を頑張っている女性は活躍していないように感じる。また、活躍推進から、もっと働けと求められているようにも感じられ、女性も負担に思わないのだろうか。国の方針であることから仕方がないが、男女平等に活躍できるように考えるべき。
- ・行政各組織での女性登用の義務化、制度化。それによる女性の意向を反映した改革推進。

（男性・60歳代）

- ・職場環境の整備と能力ある女性の登用。単なる数合わせの女性登用はどうかと思う！

（女性・20歳代）

- ・中標津は人口が減少している。まずは人口を増やすために、税金の免除や新しい制度や魅力を増やしてほしい。女性が働きやすい環境を作してほしい。まずはそこからではないかと。中標津のお土産といえば？と言ったらあんまりないですね。名産品増やして欲しいです。それこそ中標津の企業やお店と協力して。道の駅とかもあったらいいですね。結構流行ってますよ。羅臼や尾岱沼はあるのに中標津にないのが残念。街を活性化させてほしい。

（女性・30歳代）

- ・心身のケアができるサービスや環境の充実。妊娠・子育てのサポート。

（女性・40歳代）

- ・行政自体に差別や偏見のない組織作り。
- ・賃金を上げてほしい。
- ・学生のインターンの様にお試しでも働くことができ、事前研修セミナーサポートの上、斡旋してくれるとか。

（女性・50歳代）

- ・社会側が考え方をかえていく。
- ・昔のままではなく、新しいことに目を向けてくれる、それを実行してくれる行政。

（女性・70歳代以上）

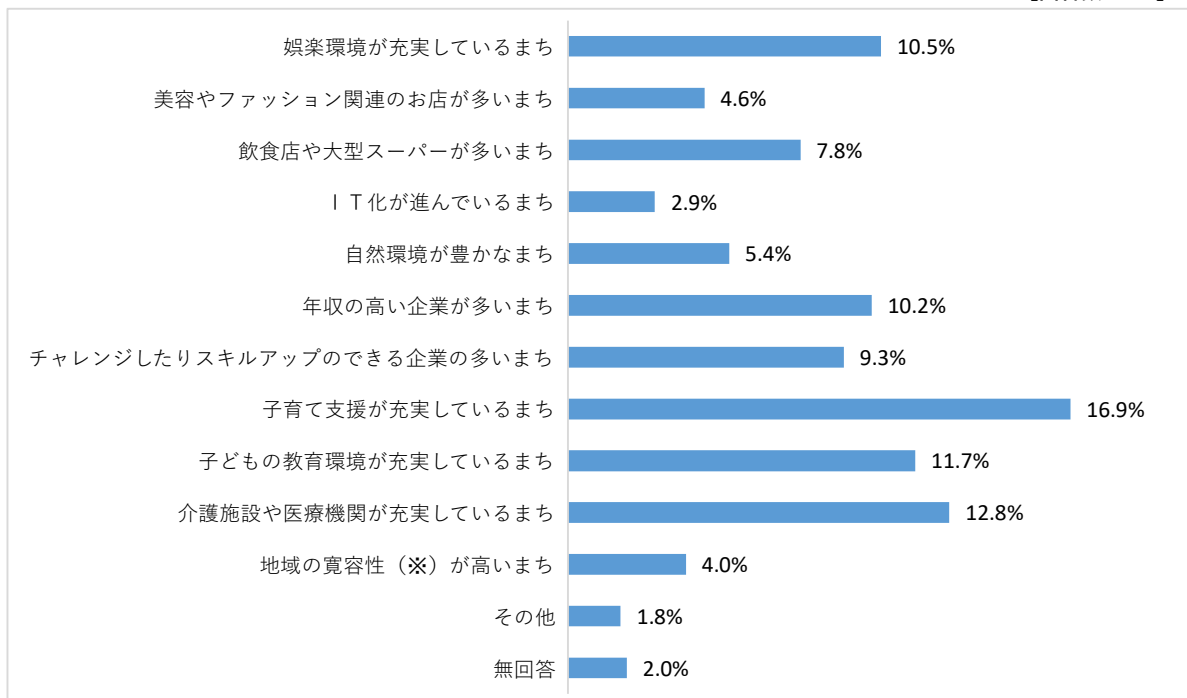
- ・わかりません。

問14 昨今、若者（特に女性）の都市部への流出が深刻な状況となっています。

若者の流出をくい止めるには、また、若者に選ばれるには、どのような「まち」だと良いと思いますか。（最もあてはまるもの3つまで）

どのような「まち」だと若者の流出がくい止められるのか、選ばれるのかをたずねたところ、「子育て支援が充実しているまち」と回答した方が最も多く、次いで「介護施設や医療機関が充実しているまち」「子どもの教育環境が充実しているまち」との回答になっています。

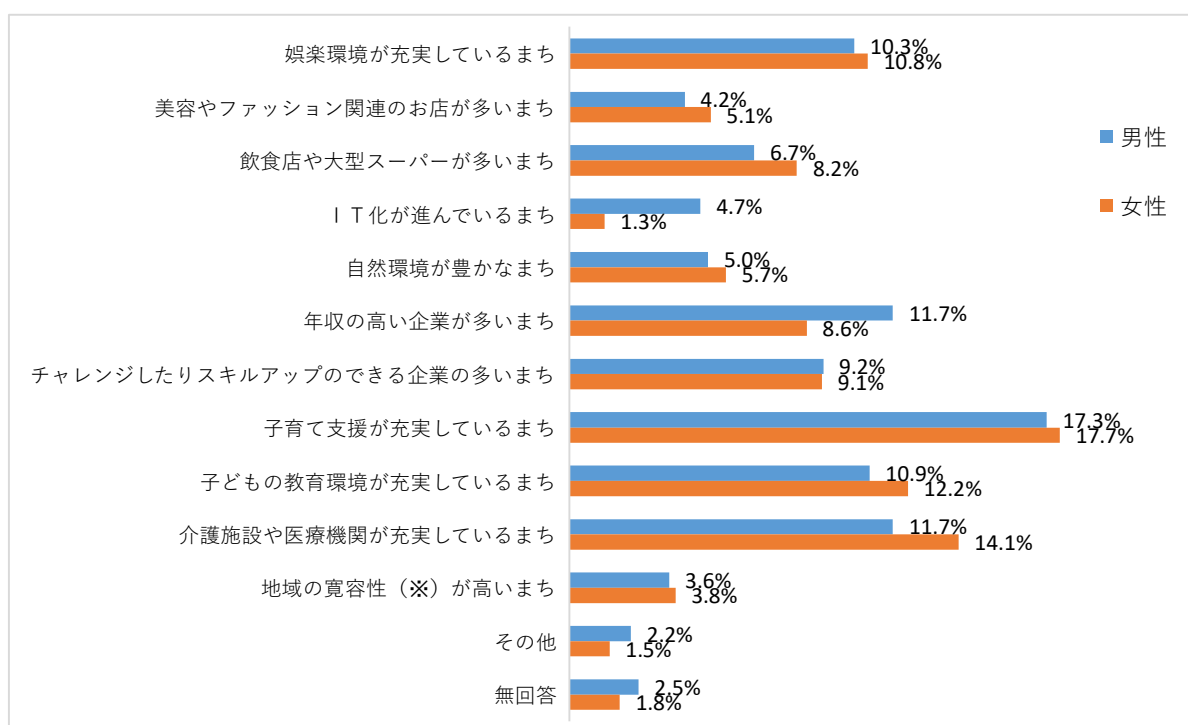
【回答数 958】



※地域の寛容性：「男性はこうあるべき」「女性はこうあるべき」などのバイアスが少ない状態のこと

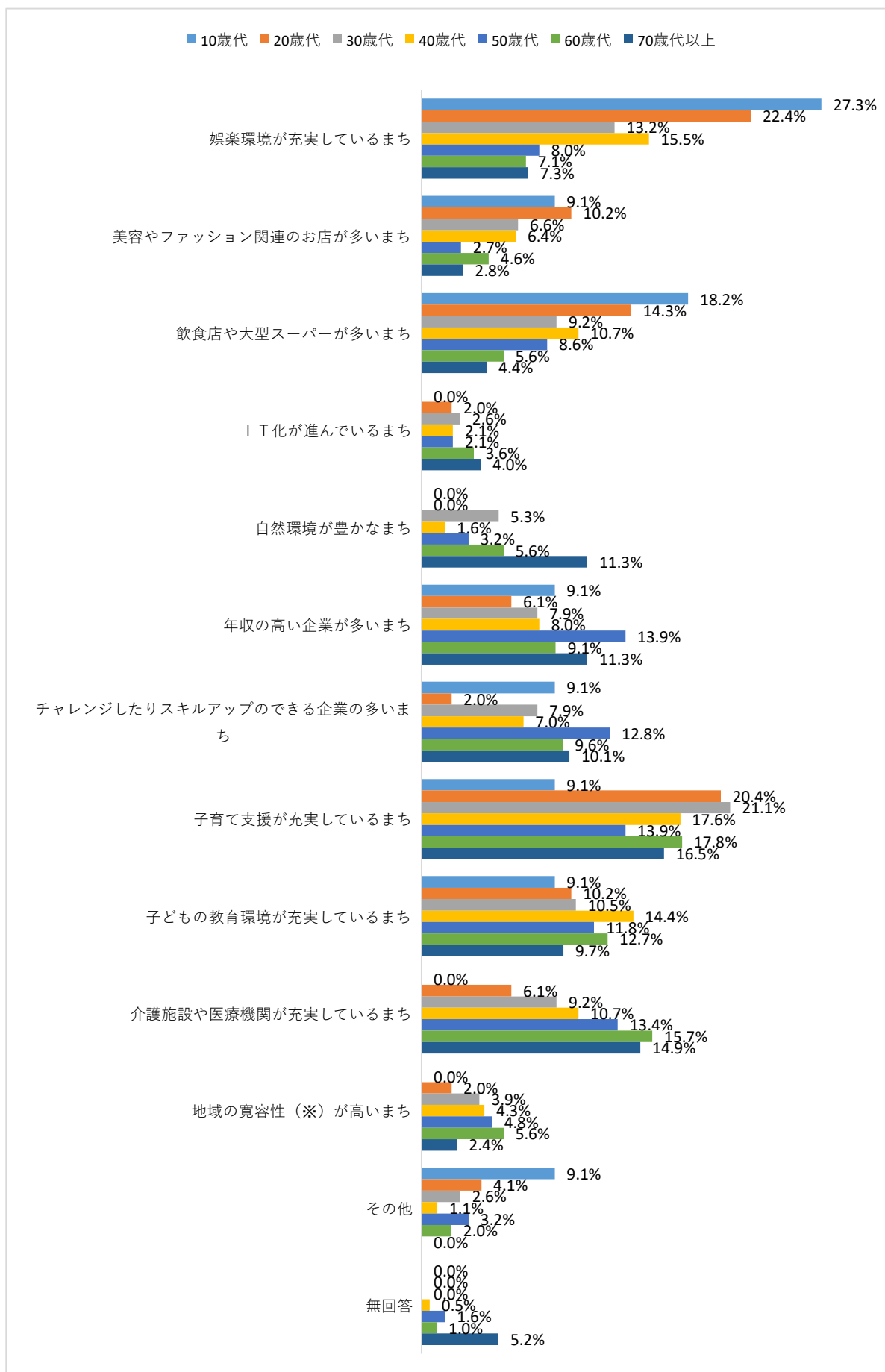
＜男女別＞

【回答数 男性359 女性547】



<年齢別>

【回答数 10歳代：11 20歳代：49 30歳代：76 40歳代：187 50歳代：187 60歳代：197 70歳以上：248】



〈その他〉

（男性・20歳代）

- ・わからない。

（男性・40歳代）

- ・時給単価が高いまち。正社員でなくても一人暮らしできる環境が必要。

（男性・50歳代）

- ・若者の流出を食い止めるのは難しいと考えます。上記の項目全てが当町にあっても、若者は更なる成長を求めて出ていくのではないかと。（様々な理由があると思いますが）また、親は町外、道外、海外に出てチャレンジする子を止めはしないと思う。自分の子は止めないのに、他の子（若者）は食い止めようとするにはならないのではないかと。なので上記の何があれば食い止めれるという考えにはなりません。むしろ中標津には今あるもので、〇〇があります、〇〇ができますなどと訴えるほうがいいのではと考えます。個人的には、交通網、医療機関等を充実させて高齢者が安心して住めるまちづくりがいいと思います。若者は出ていくが、将来、余生は故郷で過ごしたい、中標津なら安心して住めると思ってくれるような「まちづくり」が理想かなと考えます。
- ・魅力的な男(女)が活躍するまち。活躍できる仕事、仕事以外の活躍の場があるまち。
- ・上記の選択肢、何れを充実させたとしても、都市部に対抗するのは難しい。他の案があるわけではありませんが。
- ・くい止めるのは難しいので、戻ってきたくなる町を目指すのがいいと思う。
- ・いまさらむり。

（男性・60歳代）

- ・都市部からの移住者が多い町。

（女性・10歳代）

- ・交通環境が充実しているまち

（女性・20歳代）

- ・全部だと思います。都会にはある程度揃ってますからね。

（女性・30歳代）

- ・若者の流出防止に関して、最近は中学卒業後、勉強やスポーツを目的として地方へ行く子供が多いと感じます。遠軽町では、スポーツによる町外から遠軽町の高校へ下宿をして進学する家庭に対して、月3万円の補助金が出ており、札幌等からも進学する子が増えているようです。中標津でもそのような補助金があると、町外からの子供も集めることが出来、中標津高校の偏差値の上昇や町としてのスポーツ活動の活性化にも繋がり、流出防止にもつながると思います。実際に地方の子の親から、遠軽高校か中標津高校で悩んでいるけど、補助金の関係で遠軽に進学するという声を複数聞いています。
- ・医療費無料化。

（女性・40歳代）

- ・⑧と⑨が実施できない限り⑩と⑪は進まない。
- ・若者が何を都市部に求めて出ていくのか具体的にわかりませんが、一時的に離れることは若者の経験としてあって良いと思う。

（女性・50歳代）

- ・中標津は老後に不安なまち、子育てに理解がないまち。

（女性・60歳代）

- ・親が子供のいいなりになりすぎの様子が気になっている。

問15 女性活躍及び男女共同参画社会を推進していく上で、ご意見、ご提案などありましたらご自由にご記入ください。

(男性・20歳代)

- ・女性役員、女性管理職、女性議員ばかりが「女性活躍」ととらえられる推進ばかりで、やりたくない女性が企業の女性登用率を上げたいなどの本来の目的から外れて任用されているケースも少なくない。なりたくてもなれない一部の女性が声をあげ注目を浴びているが現実役員や管理職等になりたくない女性の方が多いと感じる。その割に家事・育児は男性もやるべきだと主張するし女性側の都合がいいことだけ「男なんだからやって」「女だからやらない」と主張してくる。元々性別に関わらず適材適所で活躍できる社会を目的に推進を始めたのかと思うが、女性が都合のいい時だけ主張できる社会となりつつあるためこのまま行くと「女性過保護社会」になると思う。現実日本人の多くは女性の方が家事・育児等の家の中のことが得意で、男性の方が仕事など家の外のことの方が得意な方が多くそのことを生かした仕事として看護師や保育士に就く女性が多いと思われるが、極端な話育児より仕事の方が得意な女性、仕事より育児が得意な男性、などこれまでは性別で得手不得手を判別されていたが個人の得手不得手に目を向けてもらえる社会になるよう期待します。また、男性看護師や男性保育士が嫌だというような働き手側ではなく働きの享受を受ける側の考え方も改善していく必要があると感じる。

(男性・30歳代)

- ・労働時間の短縮が必要。または在宅ワークなど家で仕事ができる環境をつくる。能力開発など知識伝達型のユーチューバーは今後も必要だと思うが娯楽系のユーチューバーが増えると働き手が減る。ここを見直して行かないと。と感じます。

(男性・40歳代)

- ・こどもクリニックが無くなったので、小児科の個人病院を誘致してほしい。できれば仕事の前や後に診察できる時間帯に営業していると大変便利だと思う。
- ・町関連の企業でいまだにサービス残業や持ち帰り業務への給料未払いがあることに驚きです。一般企業に比べるとまだまだ給料面等の待遇が悪く、職員が家に仕事を持ち帰って業務をこなしていることを職場の長が気付いていない。ぎりぎりの人数で業務をこなしているのに、さらに人数を減らされ、一人一人に多大な負担がかかっています。大変で責任のある仕事をしている者へはきちんとした報酬を出せる町へとなってほしいです。
- ・職種や性別における収入差を強く感じる。職員でも最低賃金に近い金額で働くと、都市部の収入の多い企業に人材や若者の流出が進む。また、物価高騰と収入は将来を見据えるうえで、非常に大切に魅力あるまちづくり（東川町や上士幌町）のような効果的かつ早急な対策を今行わないと20年後過疎化が進むと感じます。
ふるさと納税の寄附金額も少ない。R4 1016位。全国に売れる特産品作りを行うべきだと思います。
- ・ただ女性が社会に進出することだけを推進すると少子化が進むと考えます（子育てしない方が社会に参画しやすいと思うのです）。それはあんまりよい方向ではないと思うので、女性が社会に進出した分、家庭生活を補う方法（男性が家事・育児をする、祖父母の力をかりれる、社会が補う（ベビーシッター・長時間保育など））などの何かが必要だと思います。
- ・学校で職業の知識や選択を見つけてもらう。メジャー職以外にも活躍できる場があると知らなければ将来の選択肢の幅が増えてこない。そしてマイノリティーな道を選んだ生徒をつまはじき（いじめ等）しない、されない環境を。女性だってできる仕事でもやりたがらないのは、女性自身に「女性だから」の精神が根付いてしまっているの、その改革が必要。建設業でいえば、大工・クロス屋・設備家・電機屋・左官屋・足場屋・基礎屋などの現場仕事

で女性はほばいない。現場にトイレがないなどの問題もあるが、女性ではやれなさそうの先入観があるので、そういった先入観をなくしてほしい。

（男性・50歳代）

- 女性の活躍については、若干疑問があります。視点が狭くなってしまいましたが、例えば職場の管理職または社員が男女比50対50になったら目的達成なんでしょうか。何か違う気がします。もっと管理職に女性の登用を、なんていうのは逆に差別だと思います。賃金格差や処遇等の問題はつきないと思いますが・・・
また、よく〇〇女性部というのを聞きますが、自分達から壁を作っているように感じます。国の方針や町民からの要望もあり行政としても大変だと思いますが、男女共同、平等を目指すなら、そういうものが無くなればいいのかなと思います。意見ばかりで提案できずにすみません。
- 家族の多様性、地域の助け合いがある自然や人情味の溢れる温かい町
- やってみたい、住んでみたいと思わせる人を引き寄せる魅力的な仕事、産業を興すこと。
既存の産業でも変える方法はあるはず。
- 女性の活躍とは違う話になるかもしれませんが、職場を見ても古い考えの人がいます。自分が行った旅行のお土産を女性職員に配らせる、来客のお茶を女性に出させる、など。
性別で得意な分野も違ってくことも理解しつつ、みんなが住みやすい街になればと思います。
- 少しでも若者に意見を聞き中心になってもらい進めていくこと。少しでもその立場に近いものがやらなければやってるつもり、わかっているつもりになりがち。このアンケートがまだまだ女性に足りてないと感じたからなのであれば、何が足りてないか考えればいいこと。
上の人間の考えを変えることでは？
- 女性活躍アンケートだと思いますか？男性にきく？中標津町じたい子育て環境に遅れがあるのでは？少子化対策に対しておくれがあると思う！！これから若い人大切にしないと町なくなりますよ！！
- 女性活躍社会は耳障りの良い言葉であるが、十分に環境が整っていないため、二の足を踏む方が多い。環境が整っていなければ金銭援助をするなどが必要である。
- 一般女性の声をきくべき
- 女性に対して魅力ある人とまちづくり。「このまちに住みたい」「このまちを守りたい」と思ってもらえる人をまちを残す。※女性がいるから男性がそこに寄ってくる。本能的な考えも考慮しなければ人と人とのつながりはなくなる。
- アンケートがまと外れです

（男性・60歳代）

- 明石市の取組を参考にしてほしい
- 民間企業にはまだまだ男尊女卑の考えが根強く給料や待遇等にも格差が生じているのが現状です。企業上層部の前例踏襲的な考え方や改革をしようとする人の考え方を排除する傾向もあり、時代に追いついていない企業が多く存在します。
- 女性の社会進出は絶対に必要となっている。数値目標なども設定することも必要ではあるが、単なる数合わせではダメ！内容が伴っていないければ！それは個人的にも社会的にも。活躍するための支援も大事。（子育て支援、介護支援、支援にたずさわる人への支援も）

（男性・70歳代以上）

- 私が当町に転居して数十年になりますが、その間見て感じた事は、昭和のやり方がこの町にはまだ残っていると思います。まずはその辺から変える必要があると思います。
- 性別に関係なく、大抵の人は教育や訓練を受けることによって人並みに働くことができると思う。そのためにいくつになって学ぶことができ活躍できる社会が望ましいと思う。
- 中標津町に高卒後居住（就職）できる企業が少ない。高卒後の進路がギャップがある。

- 町役場でどんどん女性管理職を増やしていくべき。
- 行政が主体となって男女平等を有言実行すべきと思っています。
- 人口が多く高収入の得られる町、大・中企業の誘致。
- 今回の設問とは異なるが町として今後考えなければならないことは、地球温暖化に向けて標津川の氾濫に備えて町を守るために堤防の嵩上げを提案いたします。少なくとも3~4m以上は必要だと思います。考えられることは融雪期の大雨となれば大変な洪水が予想されます。地形的に考えても当然の用心だと思います。以上
- 女性が仕事についても賃金が安すぎる。

（女性・20歳代）

- 平等って難しいと思います。その人にとって働く上でのメリット、家事育児介護等のメリットがあれば平等なんじゃないですかね？
- 養育費の義務化を求めます。一例でしかないと思いますが、男性は新しい交際相手と遊んで暮らして、女性はいつ養育費が途絶えるか不安を抱きながら（または養育費をもらわずに）、子供のために寝る間も惜しんで働いているという話を耳にすることがあります。もちろん、男女が逆のパターンもあるのだと思うと思います。子どもは勝手には生まれません。男だろうと女だろうと、生まれてくる命に責任を持たせる。男女平等の形の一つではないでしょうか。
- 男性も育休を取りやすい仕組みを作ることが大切だと思います。

（女性・30歳代）

- 女性側にもバイアスがある風潮なので難しいですが、男女の役割はあまり固定化されない方が良い社会になると私は思います。男女関係なく個人を認め合える関係、環境、社会になる事を望みます。
- 男性の給与が低いことも女性が社会進出しなくてはいけない理由の一つになってしまっています。進出したい願望なら良いですが、そうではない現実。何もかもが参画社会を良くしているとは思えません。また、自分たちの親世代の意識を変えていかなければいけないのもまた一つの推進しづらい理由だと捉えています。
- 女性に求めすぎ!!（町ではなく国に言いたい）そもそも共働き当たりまえの意味がわからない。女性活躍を推進するのであれば、子作り・子育てを推進できないと思う。①保育園も落ちる（正規でも）。2人目出産後1人目は退園となりその後入園の約束がない②習い事に充てる時間がなく、あきらめてもらうしかない③送迎支援もあるが高いので働く意味がわからなくなる。子作りも女性活躍も推進するのであれば、①②③の整備（入園100%、習い事の時間調整）が必要になると思います。男性へ、家庭や学校の関わり（毎日の準備含め）の講習会を開催し理解を深めてほしい。子供を産んで他人に育児を頼む、親と子供の時間がない、コミュニケーションとれない、これで子供を産みたいと思いますか？こんなだから、いじめ・自殺・虐待が増えるの当然だと思う。

（女性・40歳代）

- 中標津町でも徐々に女性が活躍する場面が多くなってきております。いまのように徐々に変えていくことが大事で、むしろ女性ファーストな部分も多いように感じるので、「平等」というところ間違えないよう、男女ともにその時の環境があって、場面場面で適切な方に適切に役職を担っていただければと思います。昨今、女性参画がとりだたされ過ぎて、謎の目標値みたいなのが設定されている組織もあると聞いております。（年内に女性〇名増やす…みたいな）女性参画も大事ですが、雇用人数がますます減る中で、働きやすい環境づくりも大事かと思っていますので、そちらにも力を入れてほしいと感じます。
- 明治・大正・昭和の時代の風習がまだ身に染みついている方々が多く存在します。もちろんそれらが悪いとは言いません。が、時代は様々に変化します。その変化についていけること

が重要で、政治もいつまでもあーだこーだ言い合いせず、今必要なこと、先のことも見据えて行動すべきであって、小学高学年以上からは、政治や社会また地域活動を学ぶと良いと思います。また、自身の目標を壊させないことも大事であって、大人が決めるのではなく、本人が決めることで、将来重要な人材になるはずなので、まずはそこから始めない限りこのアンケートはほど遠い。

- 子どもの急な体調不良などで会社を休まなければならず肩身が狭い思いをするのはまだまだ女性が担っていると思う。働きやすい企業が増えることやラウンドワンの様な娯楽施設が出来たりすれば、若者の都市部への流出も少しはくい止められるのでは。
- 子育ての大変さは関りを持ってみないとわからない部分が多い。その大変さから得られる大切なものに、男・女関係なく、大人は学ぶべきだと思います。得意な事・できる事をできる時に、少しずつ協力していける様にできる環境づくりは大切だと思います。当たり前前の生活に感謝できる人間になれる様心掛けたいものです。
- 労働時間が長く、家のこと、子どものことに使える時間がとても限られているので、決まった時間内に終える必要があるため、いつも時間に追われ自分の時間はない。それならパートタイムで働いては？と思われるだろうが、正規で長く働いてきたため待遇差には抵抗もありますし、何より収入が生活にダイレクトに響くのがこわい。地域活動への参加も積極的にしたいと思うが、子どもの予定や家のことで叶わず申し訳ないと思うが、その気持ちは届いていないと思うので居心地が少し悪いです。女性だけ時間を短くしてもダメで、男性の同じように時間を作ることが重要だと思う。外（職場）では男女平等と進めても家に戻ったらそうはなっていないのも現実なので。
- 男女関係なく、社会が子育てに前向きになる環境を作る必要が、今後、今の日本には必要だと思います。
- 男性や高齢者、義父母世代への女性の社会進出、男性の家事・育児を行うことへの理解、教育、男性への固定概念を変える働きかけを行ってほしいです。
- 「子どもの教育環境」について、深刻な問題です。レベルが低すぎます。小さい子がいますが、この町で教育を受けさせたいと思うことができません。いずれは出ようと考えています。
- 昨今の女性の都市部への流出の件で、どうすればくい止めることができるのか。進学など都市部でしても、また帰ってきて働きたいと思える環境であるか…。職場の環境、働きやすい環境が確保されること。女性が自分の考えやスキルを活かし、結婚・出産・子育てを経ても、また働きやすい環境であるかどうか。また、出産・子育てをするためには、保育施設の充実や社会からの支援などの充実さは必要不可欠だと思います。この街で暮らし、産み育てていきたいかは、地域社会からの手厚い支援が大事だと思います。
- 女性には女性にしかない感性や役割があると思います。男性と同じことを女性がしてもあまり意味がないと思いますので、女性特有の気付きや母性愛等を活かした活動と仕事を作っていくことが、女性が活躍できるようになると思いました。（母性愛は男性にもありますが）
- まだまだ女性が社会で活躍したくても土台ができていない状態なので、これから少しずつ変わっていくことを願います。

（女性・50歳代）

- 特になし
- 女性活躍の実態を待つのではなく、働き方改革に準じた具体的な条例の制定が必要と感じる。
- 女性だからとかという考え方がまずちがうと思う。このアンケート自体がちがう。
- 介護や保育の現場でも、園長や施設長等男性のその職に就いたことのない方が多いと思う。長年介護職に携わっていた方や、保育士さんとして働いていた方を長にさせていただけると安心できる。なぜ現場を知っている人がやらないのか？
- 子どものころから、女性だから男性だからではなく、一人の人間として自立して生きていく

という考え方を持てるように、行政や教育はもちろん、地域も関わるべきだと考えます（女性が自ら、自分の可能性をせばめるような考え方は都市部より農村部に根強いと思うし、それが特に女兒に影響しているように思います）。女の子だから学歴が低くてモ的な。

（女性・60歳代）

- ・私は女性活躍推進にまったく関心がないです。アンケート、時間・町税のムダと思う。
- ・高齢なので今までお世話になったこの街に恩返しが出来れば、社会貢献のつもりでお仕事させていただいています。元気なうちは出来る事を肅々と続けていきたいです。地元がいつまでも活性した街でありますよう祈ってます。
- ・農家においては女性の労働が軽くなるような支援が必要だと思います。もっと休日にヘルパーがとれるような助成があるといいと思います。週休1日がとれるともっと女性が農業に興味をもってくれると思います。

（女性・70歳代以上）

- ・女性に限らず若者に魅力のある仕事・町作り。
- ・一度は流出しても数年後に「故里」に戻りたいと思わせるような町づくりができるとよいですネ。「井の中の蛙」にならず、男女共同参画社会に適用してほしいものです。
若者よ頑張れ。
- ・これから先中標津町が住みやすいまちにしてほしい。
- ・このアンケートは老人向けではないと思います。
- ・人の話をよく聞き、よく話し合うこと。
- ・夫は外で働き妻は家庭を守るべきという時代を生きてきた一人として、男女平等という時代になり、もっともっと女性が社会に出て頑張ってもらいたいと思います。
- ・年をとっても気軽に働ける場所が欲しいです。退職してから10数年、家にいることが多く、少しでも働いていれば気持ちが前向きになりそうです。若者が流出しないまちにするにはどうしたらいいのでしょうか。私もよくわかりません。女性も男性も生きがいを持つことが大事ですよ。
- ・まだ働くことができると思うんですけど、年齢が80歳過ぎてるために仕事はないんでしょうね？

V 参考資料

女性活躍推進に関するアンケート調査へのご協力をお願い

町民の皆様におかれましては、日頃から町政にご理解とご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、中標津町では、まちづくりの指針となる『第7期中標津町総合計画』の目標のひとつに「つながりが未来を築くまちづくり」と定め、男女共同参画社会(※)の推進を主要施策として掲げています。

男女共同参画社会を推進するにあたり、女性の社会参加の促進に向けた仕組みづくり、体制づくりについて、皆様の意識やご意見等を伺うため、アンケートを実施しますので、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和6年6月

中標津町長 西 村 穰

◇アンケート対象者は、町内在住の18歳以上の町民より無作為に抽出した1,000名です。

【ご回答にあたっての留意事項】

1. ご回答は、宛名のご本人にお願いいたします。
2. ご回答は、あてはまる番号に○をつけてください。また「その他」に当てはまる場合は、具体的な内容を記入してください。
3. ご回答は、**6月28日(金)**までにお願いします。
4. アンケートの回答は統計的に処理され、個人が特定できないように取り扱うとともに調査の目的以外に使用することはありません。
5. アンケートの集計結果については、集計後に町ホームページ等で公表します。

【回答方法】

1. 郵送による回答

- ①ペン等を使用し、設問に対する当該番号に○印を記入してください。
- ②ご記入いただいたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れ、ポストへ投函してください。(切手不要)

2. インターネットによる回答

- ①下記からサイトへアクセスし、インターネット回答用ID(下記)を入力してください。
- ②設問へ回答し、内容を確認後、送信ボタンを押してください。



URL : <https://www.harp.lg.jp/19g0Ap1b> (※←英大文字0)

回答用ID :

※IDは重複回答を防ぐために使用し、回答者を特定するものではありません。

※男女共同参画社会とは

男女共同参画社会基本法 第2条

男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会を形成することをいう。

～問合せ先～

中標津町役場

総務部 政策推進課 協働推進係

TEL (0153) 73-3111 内線 327

Eメール kyoudou@nakashibetsu.jp

女性活躍推進に関するアンケート調査回答用紙

1 ご自身のことについて

問1 それぞれの項目ごとにあてはまる番号1つに○印を付けてください。

(1) 性別	①男性 ②女性 ③無回答
(2) 年齢	①10 歳代 ②20 歳代 ③30 歳代 ④40 歳代 ⑤50 歳代 ⑥60 歳代 ⑦70 歳代以上
(3) 職業 (主なもの)	①個人事業主・会社経営者(役員) ②家族従業(家事手伝い) ③勤め(正規職員) ④勤め(パートタイム・アルバイト) ⑤専業主婦・主夫 ⑥学生 ⑦無職 ⑧その他
(4) 業種	①農林漁業 ②建設業 ③製造業 ④運輸業・郵便業 ⑤電気・ガス・水道業 ⑥情報通信業 ⑦卸売業・小売業 ⑧金融業・保険業 ⑨不動産業 ⑩飲食業・宿泊業 ⑪医療・福祉・介護 ⑫教育・学習 ⑬サービス業 ⑭官公庁 ⑮その他
(5) 家族構成	①単身 ②夫婦(子どもはいない) ③親子(2世代) ④親・子・孫(3世代) ⑤その他

2 女性活躍推進について

問2 2016年に女性活躍推進法が施行されましたが、実際に女性が活躍できる場が広がっているという実感はありますか。（1つに○印を付けてください）

①実感がある

②実感がない

③わからない

※①を選んだ方にお伺いします。
女性の活躍が進んでいると感じる理由を教えてください。
（複数回答可）

- ①働く女性が増えた
- ②女性のリーダーや管理職が増えた
- ③女性が少なかった業種・職種に女性が増えた
- ④セミナーやシンポジウム等において女性の講演者やパネリストが増えた
- ⑤女性の自治体の長、国会議員、地方議会議員等が増えた
- ⑥その他

※②を選んだ方にお伺いします。
女性の活躍が進んでいないと感じる理由を教えてください。
（複数回答可）

- ①働く女性は増えたが、非正規や補助的なポジションについている
- ②女性のリーダーや管理職が少ない
- ③女性の自治体の長、国会議員、地方議会議員等が少ない
- ④女性の受け入れが進まない業種・職種がある
- ⑤セミナーやシンポジウム等において女性の講演者やパネリストが少ない
- ⑥その他

問3 次にあげる分野で、男女は平等になっていると思いますか。

（それぞれ1つに○印を付けてください）

	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等になっている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない
①家庭生活	1	2	3	4	5	6
②職場	1	2	3	4	5	6
③学校	1	2	3	4	5	6
④地域活動	1	2	3	4	5	6
⑤社会全体	1	2	3	4	5	6

問4 日常生活の中で男女の不平等を一番感じる場所はどこですか

(1つに○印を付けてください)

- | | | | | |
|-----------|--------|-----|-------|-------|
| ①家庭 | ②職場 | ③学校 | ④地域活動 | ⑤社会全体 |
| ⑥不平等は感じない | ⑦わからない | | | |

3 女性と仕事について

問5 女性の働き方について、どうお考えですか。(1つに○印を付けてください)

- | |
|--------------------------------------|
| ①結婚や出産・育児などを経ても、ずっと仕事を続けた方がよい |
| ②子育ての時期だけ仕事を辞め、その後はフルタイムで仕事を続けた方がよい |
| ③子育ての時期だけ仕事を辞め、その後はパートタイムで仕事を続けた方がよい |
| ④子どもができるまで仕事を持ち、子どもができたらず仕事を持たない方がよい |
| ⑤結婚するまで仕事を持ち、結婚後は仕事を持たない方がよい |
| ⑥仕事を持たない方がよい |
| ⑦その他 () |

※問5で①②③と回答した方にお伺いします

問5-2 女性が仕事を持つ方がよいと考える理由はなんですか。(複数回答可)

- | |
|------------------------------------|
| ①女性が持つ能力や経験を生かさないのはもったいないから |
| ②女性も経済力を持った方がよいから |
| ③生活のため多くの収入を得られる方がよいから |
| ④少子高齢化で働き手が減少する中、働ける人は働いた方がよいと思うから |
| ⑤性別に関わらず働くことは当たり前だから |
| ⑥その他 () |

問6 女性が仕事を続けていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(複数回答可)

- ①女性が働くことに対する家族や周囲の理解と協力
- ②家族の家事・育児等への積極的な関わり
- ③育児や介護のサービスの充実
- ④性別にとらわれない人事配置や人材育成
- ⑤性別に関わらず社会全体の長時間労働の是正
- ⑥時差出勤やフレックスタイム制などの働きやすい職場環境の整備
- ⑦女性向けの研修の実施
- ⑧その他 ()

問7 いったん離職した女性が再就職や起業にチャレンジするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(複数回答可)

- ①時差出勤やフレックスタイム制などの働きやすい職場環境の整備
- ②家族の家事・育児等への積極的な関わり
- ③保育体制の充実
- ④介護・医療機関などの充実
- ⑤就業相談、情報提供機関の充実
- ⑥再就職のための自己啓発セミナーや技術、技能講習会等の開催
- ⑦その他 ()

4 男性が家事・育児等に関わることについて

問 8 男女で家事・育児等の分担に差があると思いますか（1つに○印を付けてください）

- ①男性の方が多く担っていると思う
- ②女性の方が多く担っていると思う
- ③特に男女で差はないと思う
- ④わからない、特に考えたことがない

問 9 男性の家事・育児等の関わりについて、どうお考えですか。（複数回答可）

- ①男性が家事・育児等を行うことは当然だと思う
- ②夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだと思う
- ③仕事・職場の環境に良い影響を与えらると思う
- ④子どもや夫婦間の関係に良い影響を及ぼすと思う
- ⑤女性の労働力や社会進出、社会貢献が増加し、社会に良い影響を与えらると思う
- ⑥その他（ ）

問 10 男性が家事・育児等に積極的に関わることについて、以前と比べて考え方は変わりましたか。（1つに○印を付けてください）

- ①以前から考えは変わらない（積極的に関わるべき）
- ②以前から考えは変わらない（関わらなくてよい）
- ③以前よりも肯定的に捉えている
- ④以前よりも否定的に捉えている
- ⑤わからない、特に考えたことがない

問 11 男性が家事・育児等に積極的に関わるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（最もあてはまるもの3つまで）

- ①男性が家事・育児等に参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと
- ②男性が家事・育児等に参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと
- ③家族間のコミュニケーションをよく図ること
- ④家事・育児等は女性の役割というような、性別による無意識の思い込みに気づくこと
- ⑤男性も家事・育児等を行うことは当然であるという考えが社会に広まること
- ⑥男性による家事・育児等について、職場における上司や周囲の理解を深めること
- ⑦労働時間短縮や休暇取得、在宅勤務等の多様な働き方の普及等により、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること
- ⑧男性の家事・育児等について、啓発や情報提供を行うこと
- ⑨男性が家事・育児等を行うための仲間づくりを進めること
- ⑩特に必要なことはない
- ⑪その他（）

5 現在の就業状況について

問 12 現在収入を得る仕事に就いていますか。(1つに○印を付けてください)

- ①仕事に就いている(個人事業主・会社経営者・正規職員) ⇒ 問 13 へ
- ②仕事に就いている(家事手伝い・パートタイム・アルバイト) ⇒ 問 12-2 へ
- ③以前は仕事に就いていたが、現在は就いていない ⇒ 問 12-3 及び 問 12-7 へ
- ④仕事に就いたことがない ⇒ 問 13 へ

※問 12 で②と回答した方にお伺いします

問 12-2 現在の雇用形態を選んだ理由を教えてください。(複数回答可)

- ①家庭や育児等と両立しやすいから
- ②雇用条件があっていたから(雇用形態にはこだわらない)
- ③家計の補助として働きたいから
- ④正職員の仕事がなかったから
- ⑤正職員だと責任が重いから
- ⑥家族に正職員で働くことを反対されたから
- ⑦その他 ()

※問 12 で③と回答した方にお伺いします

問 12-3 現在、再就職を希望していますか。(1つに○印を付けてください)

- ①働くつもりである
 - ②いつかは働きたい(時期未定)
 - ③働くつもりはない
- } 問 12-4 へ

※問 12－3 で①②と回答した方にお伺いします

問 12－4 再就職に向けた準備でしていることを教えてください。（複数回答可）

- | | | |
|-----------------------------|---|----------|
| ①求人広告や求人情報サイトなどで仕事を探している | } | 問 12－5 へ |
| ②スキルアップのための講座や通信教育などで勉強している | | |
| ③ハローワークで仕事を実際を探している | | |
| ④まだ何もしていない ⇒ 問 12－6 へ | | |
| ⑤その他（ | | ） |

※問 12－4 で①②③と回答した方にお伺いします

問 12－5 再就職について情報収集に利用したことがあるものを教えてください。
（複数回答可）

- | |
|------------------|
| ①求人広告や求人情報サイトなど |
| ②ハローワークのホームページなど |
| ③友人・知人からの口コミ |
| ④家族からの情報 |
| ⑤その他（ |
| ） |

※問 12－4 で④と回答した方にお伺いします

問 12－6 再就職を希望していても、準備を進めていない理由を教えてください。
（複数回答可）

- | |
|-----------------------------|
| ①いつかは働きたいが、具体的な検討はまだしていないため |
| ②自分のキャリアにブランクがあり不安であるため |
| ③何から始めたらいいのかわからないため |
| ④希望する職種や働き方がみつからないため |
| ⑤家族の理解が得られないため |
| ⑥その他（ |
| ） |

※問 12 で③と回答した方にお伺いします

問 12－7 仕事を辞めた理由は何ですか。(複数回答可)

- ①自分の都合（年齢、健康上の理由など）
- ②結婚のため
- ③出産のため
- ④家族の都合（転勤など）
- ⑤仕事の内容や待遇に不満があったため
- ⑥職場の人間関係のため
- ⑦経済的に働く必要がなかったため
- ⑧勤め先の都合
- ⑨思っていた仕事と実際の仕事が違っていたため
- ⑩その他（）

6 女性活躍推進に関する今後の取り組みについて

問 13 今後、女性の活躍推進について、行政にどのようなことを望めますか。(複数回答可)

- ①広報紙やパンフレットなど、女性活躍推進についての啓発
- ②就業相談や就職情報の提供
- ③就業に向けた自己啓発セミナー等、実践的な研修やセミナーの開催
- ④起業講座等、チャレンジ支援のための講座の開催
- ⑤キャリアアップのための研修等の開催
- ⑥保育施設や保育サービスなどの子育て環境の充実
- ⑦医療・介護の施設や介護サービスの充実
- ⑧特に望むことはない
- ⑨その他（）

若者の流出をくい止めるには、また、若者に選ばれるには、どのような「まち」だと良いと思いますか。(最もあてはまるもの3つまで)

- ※「男性はこうあるべき」「女性はこうあるべき」などのバイアスが少ない状態のこと

問 15 女性活躍及び男女共同参画社会を推進していく上で、ご意見、ご提案などありましたら
ご自由にご記入ください。

※ご記入いただいた調査票は、6月28日（金）までに、
同封の返信用封筒に入れてご返送ください。（切手は不要です。）